brother

ファクシミリ取扱説明書
FAX-210

本書をよくお読みになって
製品をご利用ください。



お客様相談窓口（コールセンター）

050-3786-8891

ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。
本製品の取り扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のお客様相談窓口にお気軽にお申し付けください。
なお、ご利用の際は、おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間　午前9：00～午後7：00

営 業 日　月曜日～土曜日（日・祝日および当社（ブラザー販売(株)）休日は休みとさせていただきます。）

本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

目　次

目　次

安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この「安全にお使いいただくために」では、お客様や第三者への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

表示と記号の意味は次のようになっています。いつも快適な状態で安全にお使いいただけるよう、内容をよくご理解いただいてから、本製品をご使用ください。


危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される内容を示します。


警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。


注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。



●記号は「しなければいけないこと（指示）」を意味しています。図中のイラストは、具体的な指示内容を示しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜くことを意味しています。）



「しなければいけないこと」を示しています。



「電源プラグを抜くこと」を示しています。



「アース線を接続すること」を示しています。



⃠記号は「してはいけないこと（禁止）」を意味しています。図中のイラストは、具体的な禁止内容を示しています。（左の例は分解してはいけないことを意味しています。）



「してはいけないこと」を示しています。



「さわってはいけないこと」を示しています。



「分解してはいけないこと」を示しています。



「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。



「水ぬれ禁止」を示しています。



誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。



本製品を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。



本製品を取り扱う上での注意事項を示しています。

〈お客様へのお願い〉

● 本機は、情報処理装置など電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく、クラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
● 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「お客様相談窓口（コールセンター）：050-3786-8891」までご連絡ください。
● お客様や第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
● 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対におやめください。
● **電話帳に登録した内容など重要な情報は、必ず印刷して保管してください。**（「ダイヤルリスト」☞ 60ページ、「電話帳リスト」☞ 60ページ）
本製品は、静電気・電気的ノイズなどの影響を受けたとき、誤って使用したとき、または故障・修理・使用中に電源が切れたときに、メモリーに記憶した内容が変化・消失することがあります。これらの要因により本機のメモリーに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

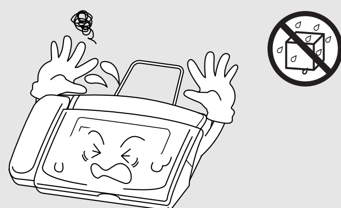
※ 取扱説明書など、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブ（☞ 83ページ）へご注文ください。

安全にお使いいただくために

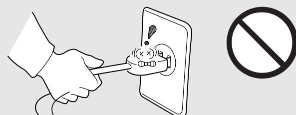
■ 設置、配線についてのご注意

⚠警告

●水のかかる場所（風呂場や加湿器のそばなど）や湿度の高い場所には設置しないでください。
漏電による感電、火災の原因となります。



●電源コードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コンセントから抜くときは、必ず、電源プラグを持って抜いてください。
ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電ややけどの原因となります。



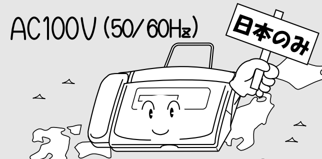
●火気や熱器具、揮発性可燃物やカーテンに近い場所に設置しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。



●医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。



●電源はAC100V 50Hz、または60Hzでご使用ください。
それ以外の電源電圧でご使用になると、火災や感電、故障の原因となります。
●国内のみでご使用ください。電波法上、海外ではご使用になれません。





●いちじるしく低温な場所、急激に温度が変化する場所には設置しないでください。
装置内部が結露するおそれがあります。

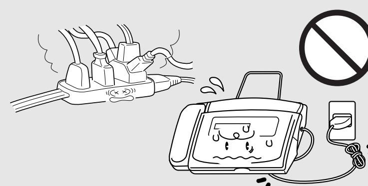


●万一漏電した場合の感電事故防止のため、アース線を取り付けてください。



・**アース線を取り付けられるところ**
　電源コンセントのアース端子
　銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
　接地工事（D種）が行われている接地端子
・**アース線を取り付けてはいけないところ**
　ガス管
　電話専用アース
　避雷針
　水道管や蛇口

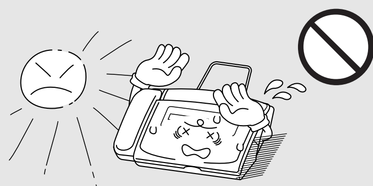
●たこ足配線はしないでください。
●電源コードやACアダプタを破損するようなことはしないでください。
下記をしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
・加工する
・無理に曲げる
・高温部に近づける
・引っ張る
・ねじる
・たばねる
・重いものをのせる
・挟み込む
・金属部にかける
・折り曲げをくり返す



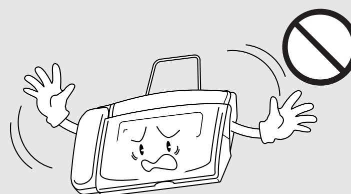
⚠注意

以下の場所には設置しないでください。故障や変形の原因となります。

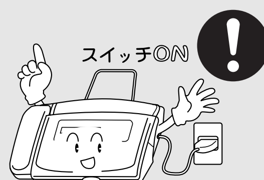
●直射日光のあたるところや暖房設備のそばなど、温度の高い場所

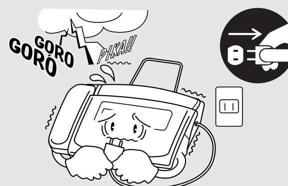


●ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所

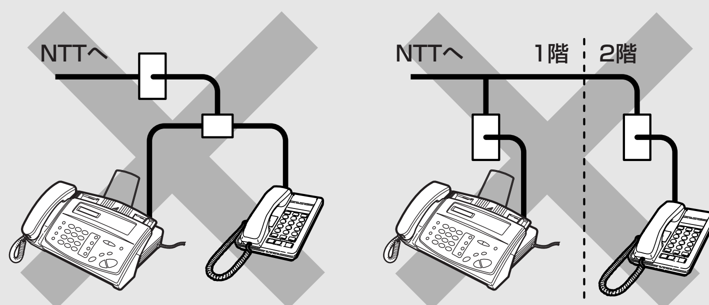


●本機には電源スイッチがついていませんので、電源コードやACアダプタは抜きやすい場所にあるコンセントに確実に差し込んでください。
雷が鳴り始めたら安全のために電源コードやACアダプタをコンセントから抜き、電話機コードを本機から抜いてください。





ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。
●ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の受話器をあげるとファクスの画像が乱れたり通信エラーが起きることがあります。
●電話がかかってきたとき、着信音が鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できないときがあります。
●本機で保留にした場合、並列電話機では本機の保留状態を解除できません。
●並列電話機から本機への転送はできません。
●ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
●パソコンを接続すると、本機が正常に動作しない場合があります。



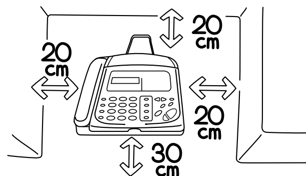
・**ブランチ接続（並列接続）とは**
1つの電話回線に複数台の電話機を接続することです。
・**家庭内にあるいくつかの電話のモジュラージャックにそれぞれ接続することはできません。**

安全にお使いいただくために



● 本機をお使いいただける環境は次の通りです。
温度：5～35℃
湿度：45～80%

● 本機を正しく使用し性能を維持するために、設置スペースを確保してください。



記録紙／原稿の排出の妨げになりますので、本体前方にものを置かないでください。

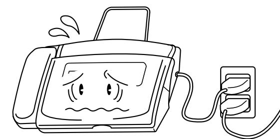
● 電波障害時の対処
本機の近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したりする場合があります。本機の電源コードをコンセントからいったん抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試してください。

・本機をテレビなどから遠ざける。
・本機、またはテレビなどの向きを変える。

● 以下のような場所には設置しないでください。故障や変形の原因となります。

・テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど、磁気の発生する場所
・クーラー、換気口など、風が直接あたる場所
・ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
・換気の悪い場所

● 電源コンセントの共用にはご注意ください。
コピー機などの高電圧機器と同じ電源は避けてください。

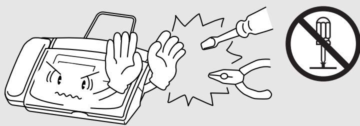


■ 使用する際のご注意

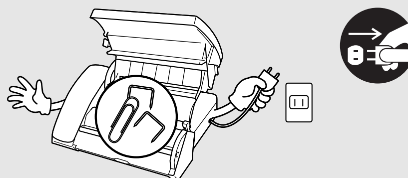
⚠警告

そのまま使用すると故障や火災、感電の原因となります。

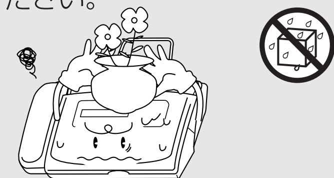
●分解、改造をしないでください。（法律で罰せられることがあります。）修理などはコールセンターにご相談ください。



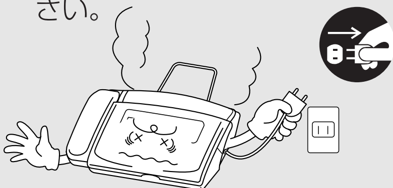
●異物が入ったときは、電源コードを外して、コールセンターにご相談ください。



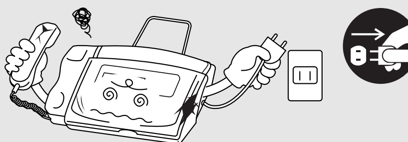
●本機に水や薬品、ペットの尿などの液体が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。
万一、液体が入ったときは、電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



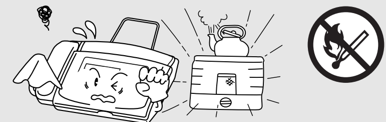
●煙が出たり、変なにおいがしたときは、すぐに電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



●本機を落としたり、破損したときは、電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



●火気を近づけないでください。

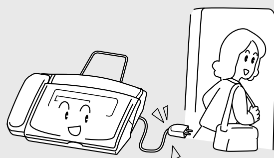


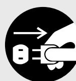
●差し込み部のホコリなどは定期的にとってください。湿気などで、絶縁不良の原因となります。
電源コードをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。



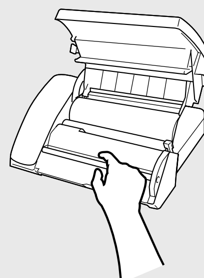
⚠注意

●長期間不在にするときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。





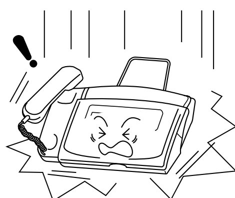
●操作パネルを閉めるときに指などをはさまないように注意してください。



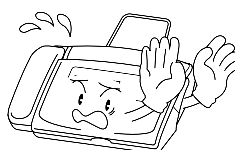




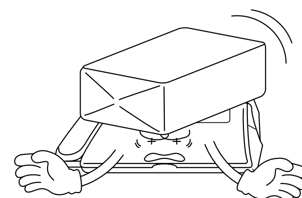
● 落下、衝撃を与えないでください。



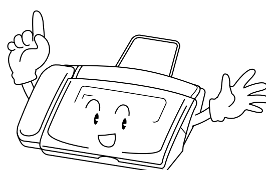
● 正常動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。



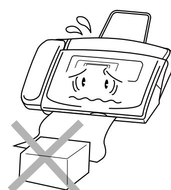
● 本機の上に重いものを置かないでください。



● 指定以外の部品は使用しないでください。



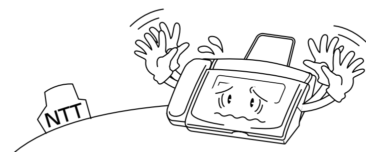
● 原稿排出の妨げになりますので、本体前方にはものを置かないでください。



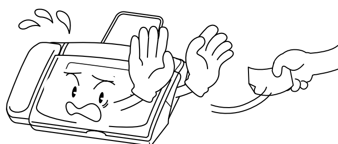
● 海外通信をご利用の際、回線の状況によっては正常な通信ができないときがあります。



● NTTの支店･営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので、最寄りのNTTの支店･営業所へご相談ください。（116：無料）

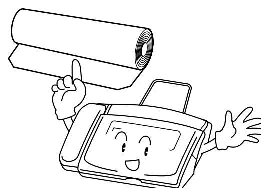


● 本機に貼られているラベル類ははがさないでください。

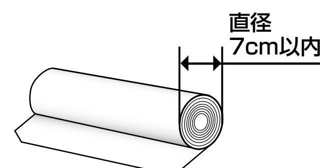


● 雑音が入るときは、アース線を取り付けてください。

● 記録紙は、当社推奨の感熱記録紙（感熱記録紙　A4サイズ　長さ：30mロール　横幅：210mm　芯：1インチ紙管）を使用してください。芯が1/2インチのものや極端に薄い感熱紙を使うと記録紙づまりやかすれの原因になります。



● 記録紙は、直径7cm以内のものを使用してください。



安全にお使いいただくために

■ 停電になったとき



停電時のデータについて

削除されないデータ

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、各種登録・設定内容

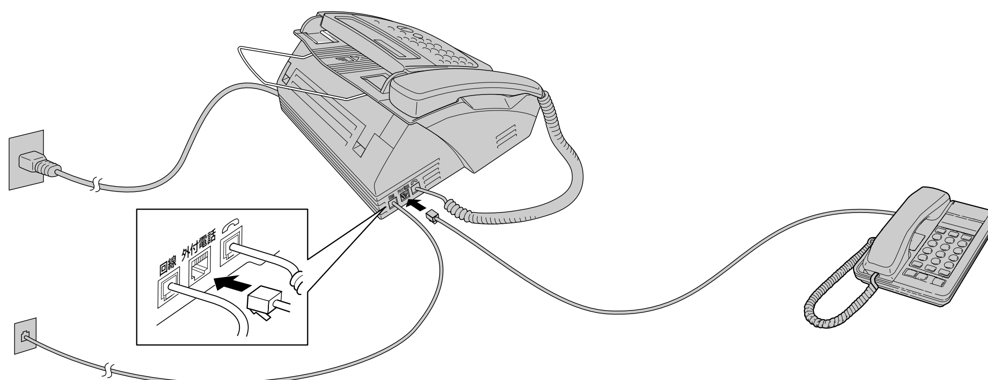
削除されるデータ

着信記録、通信管理レポート

2～3時間以上停電が続いたときは、日付が正しく表示されないことがあります。再設定をしてください。
（☞ 20ページ）



本機はAC電源を必要としているため、停電時は使用できなくなります。停電時に備えて、あらかじめ停電用電話機（AC電源を必要としない電話機）をご用意いただくことをおすすめします。停電用電話機を本機の外付電話端子に接続すると、停電時に停電用電話機を使って電話をかけたり受けたりできます。



■ コピーについて

● 法律で禁止されているもの（絶対にコピーしないでください）

- 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
- 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用の郵便切手や官製はがき
- 政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券類

● 著作権のあるもの

- 著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは、禁止されています。

● その他注意を要するもの

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
- 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

第1章

最初にお読みください

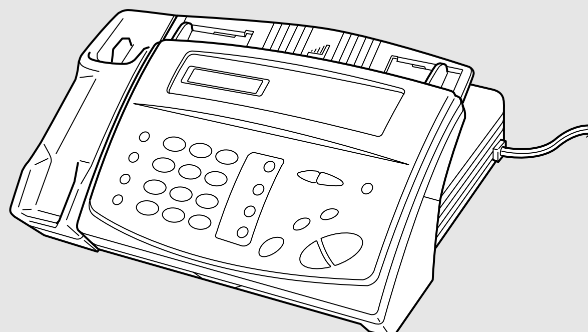
必ずお読みください

お好みで設定してください

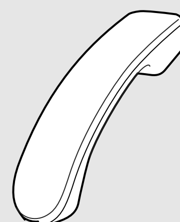
付属品を確認する

箱の中に以下のものがそろっているか、確認してください。
万一不足しているものがあったり、取扱説明書に落丁・乱丁があったときは、「お客様相談窓口（コールセンター）：050-3786-8891」にご連絡ください。

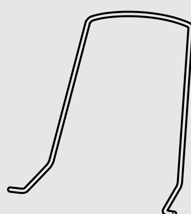
本体 1台



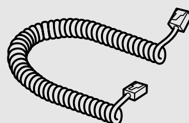
受話器 1台



原稿ホルダー 1個



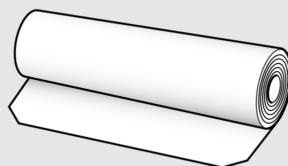
受話器コード 1本



電話機コード 1本
（回線接続用）



感熱記録紙 1本
（210mm×8m、芯：1インチ紙管）



同梱されている記録紙はお試し用（長さ：8mロール）となっておりますので、お早めに当社推奨の記録紙（長さ：30mロール）をご用意ください。（☞ 79ページ）また、操作パネルの開閉や電源のOFF/ONを頻繁に行うと記録紙が早くなくなりますのでご注意ください。

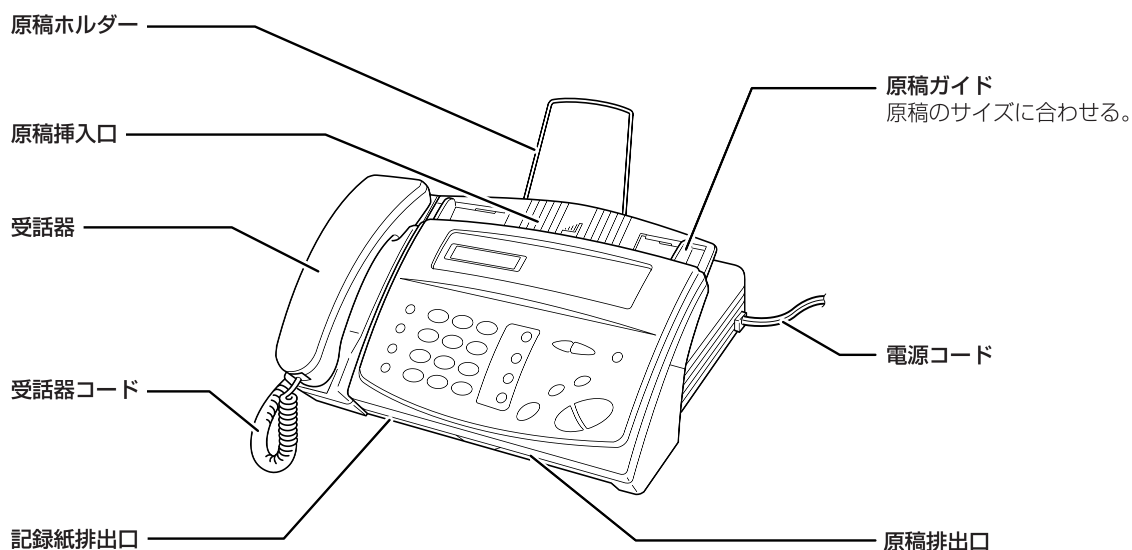
保証書 1部	取扱説明書 1部
かんたん設置ガイド 1部	ワンタッチシール（アテナラベル） 1枚



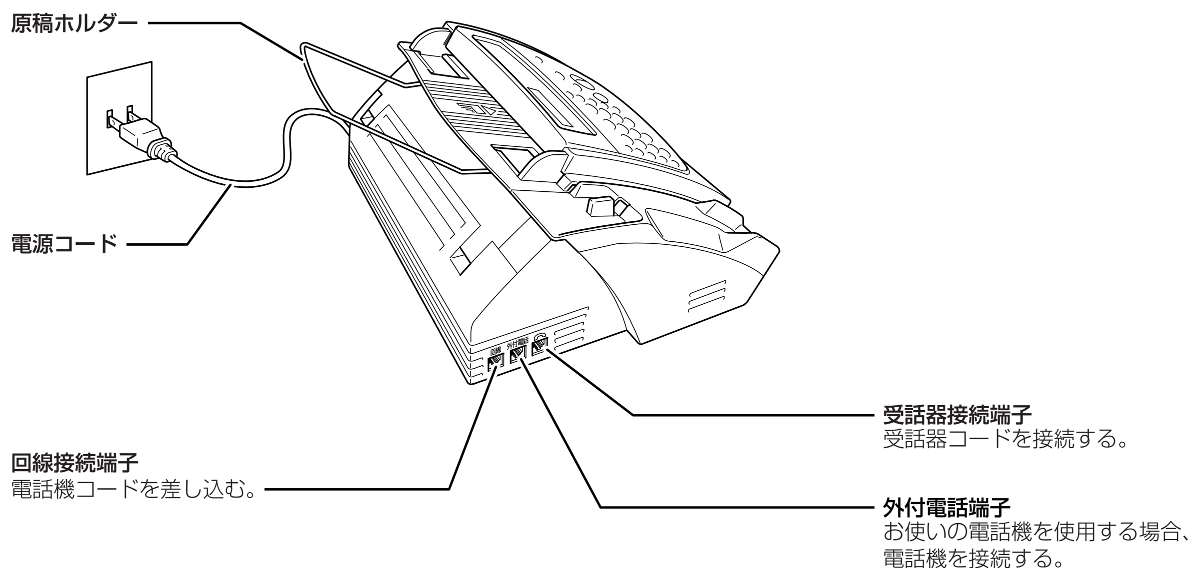
製品に付いている保護用紙や青いテープなどは、設置前に取り除いてください。

各部の名称とはたらき

正面図

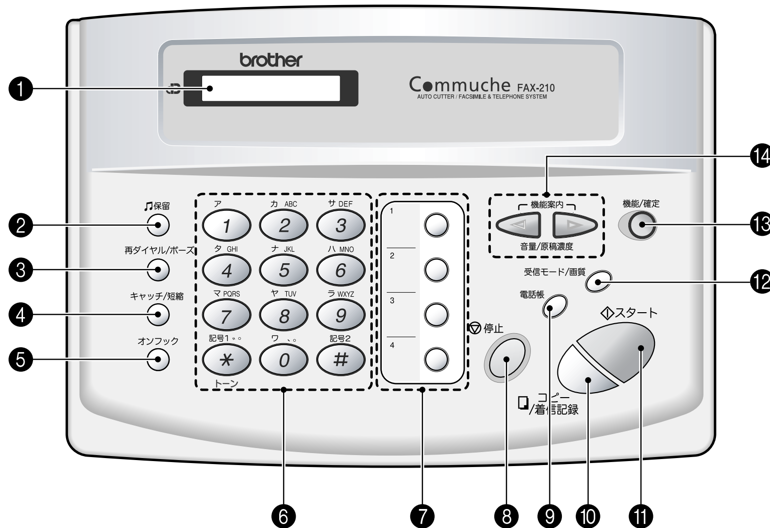


背面図



各部の名称とはたらき

操作パネル

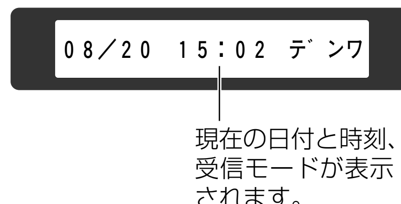


❶	–	**ディスプレイ** 操作手順や本機の状態、メッセージなどが表示されます。
❷	♫保留	**保留ボタン** 保留にして相手にメロディを流すときに押します。(☞ 31ページ)
❸	再ダイヤル/ポーズ	**再ダイヤル／ポーズボタン** 最後にかけた番号にかけ直すとき（☞ 30ページ)、またはダイヤル番号入力時にポーズを入れるときに押します。
❹	キャッチ/短縮	**キャッチ／短縮ボタン** キャッチホンを受けるとき（☞ 65ページ)、または短縮ダイヤルを使用するとき（☞ 34ページ）に押します。
❺	オンフック	**オンフックボタン** 受話器を置いたまま電話をかけるときに押します。（☞ 30ページ）
❻	ワ 、。 0 〜 ラ WXYZ 9	**ダイヤルボタン** ダイヤルするとき（☞ 30、36ページ)、または文字を入力するとき（☞ 22ページ）に押します。
❻	記号1 ゛゜ ＊ トーン	**記号1／トーンボタン** 記号を入力するとき（☞ 22ページ）、または一時的にプッシュホンサービスを利用するとき（☞ 66ページ）に押します。
❻	記号2 #	**記号2ボタン** 記号を入力するときに押します。 （☞ 22ページ）
❼	1 〜 4	**ワンタッチダイヤルボタン（1〜4）** ワンタッチダイヤルを使用するときに押します。(☞ 34ページ)
❽	停止	**停止ボタン** 操作を途中で中止するときに押します。
❾	電話帳	**電話帳ボタン** 電話番号を検索するときに押します。 （☞ 34ページ）
❿	コピー/着信記録	**コピー／着信記録ボタン** コピーするとき（☞ 56ページ)、または着信記録を確認するとき（☞ 63ページ）に押します。
⓫	スタート	**スタートボタン** 送信／受信するときなどに押します。
⓬	受信モード/画質	**受信モード／画質ボタン** 受信モードを変更するとき（☞ 43ページ)、または画質を調整するとき（☞ 58ページ）に押します。
⓭	機能/確定	**機能／確定ボタン** 機能を設定するとき、または設定内容を確定するときに押します。
⓮	機能案内 ◁ ▷ 音量/原稿濃度	**機能案内ボタン** 機能案内を印刷するとき同時に押します。 （☞ 60ページ）
⓮		**音量／原稿濃度ボタン** 音量を調整するとき（☞ 26ページ）、または濃度を調整するとき（☞ 58ページ）に押します。
⓮		**矢印ボタン** カーソルを左右に動かすとき、または設定内容を変更するときに押します。

ディスプレイ

現在の状態やメッセージ、操作手順などを表示します。
通話していない状態では、右のように「待ち受け画面」が表示されています。

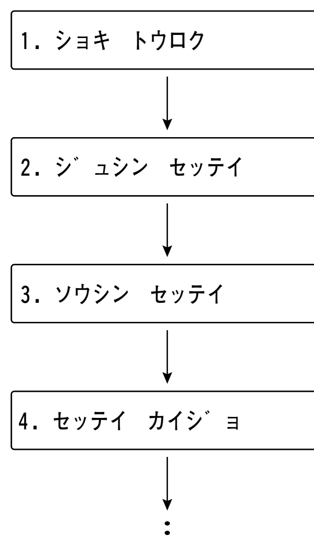
「待ち受け画面」



現在の日付と時刻、受信モードが表示されます。

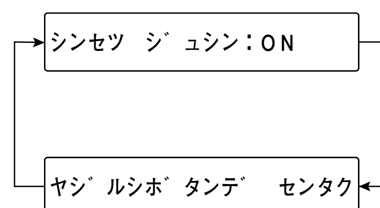
■ ディスプレイのスクロール

（機能/確定）を一度押すと自動的にディスプレイに各機能が次々と表示されます。
（または（1）～（7）でその機能の番号を入力するか、（◁）（▷）を押し、任意で表示を切り替えます。）
設定したい機能が表示されたら再度（機能/確定）を押します。表示にしたがって入力することで、各種の設定や登録をすることができます。



■ ディスプレイの交互表示

現在設定されている機能、選択している内容、次の手順へ進む方法、選択の方法についてのメッセージを約2秒間隔で交互に表示します。
右の例では、現在「親切受信」が「ON」に設定されていることと、設定を変更するためには（◁）（▷）で選択するという方法を表示しています。
このようにメッセージにしたがって簡単に設定や登録をすることができます。

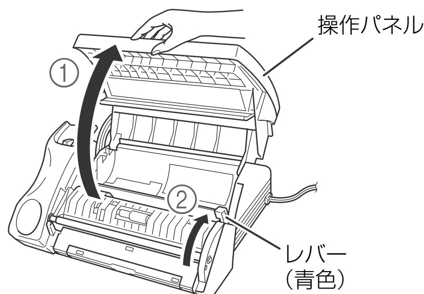


本機を準備する

記録紙をセットする

記録紙は、当社の推奨品「感熱記録紙」(A4サイズ　長さ：30mロール　横幅：210mm　芯：1インチ紙管）をお使いください。(部品コード：LS9587001)
感熱記録紙は普通紙のように鉛筆やペンで書き込みができ、長期保存にも適しています。

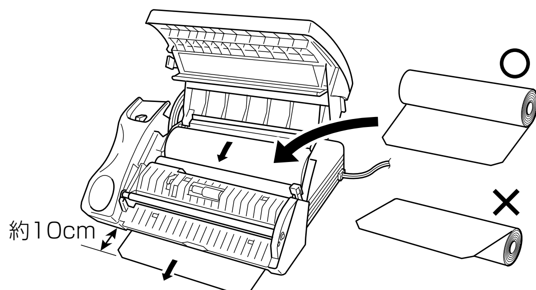
1 操作パネルを開き、青色のレバーを押し上げる



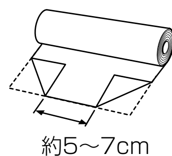
補足
操作パネル前側中央部に指をかけ、**「カチッ」**と音がするところまで持ち上げます。

2 本体に記録紙を入れ、セットする

紙の先端が下側から出る向きに入れてください。
記録紙の先端を本体の中へ通し、記録紙の先端が10cmくらい出るまで引き出してください。

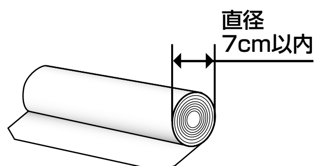


差し込みやすいように記録紙の先端を右図のように**しっかり**折ってください。

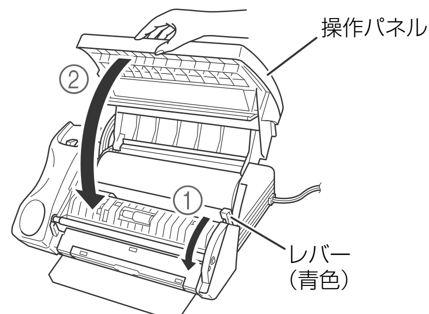


注意
一度引き出した記録紙は、**巻き戻さないでください。**記録紙がつまってしまいます。

メモ
記録紙は、直径7cm以内のものを使用してください。



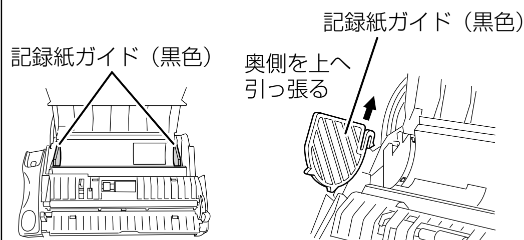
3 青色のレバーを戻し、操作パネルを閉じる



補足
操作パネル前側中央部を押さえながら、しっかり閉じます。

お願い
記録紙／原稿が本体前方より排出されますので水平な所に設置する場合、本機の前を約30cm以上あけてください。

メモ
- 記録紙が残り少なくなると、記録紙の裏側に赤い帯が出てきます。新しい記録紙を用意してください。
- 記録紙サイズを210mm幅から216mm幅に変更するときは、取り付けてある記録紙ガイド（黒色）を取り外してから記録紙をセットしてください。

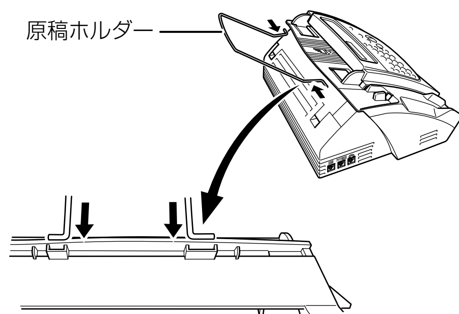


- 記録紙をセットし操作パネルを閉じたあと、本機に電源が入っていると、自動的に記録紙が送り出されカットされます。(オートカット機能)

本体を接続し、回線種別の自動設定をする

❶ 原稿ホルダーを取り付ける

原稿をスムーズに送るために、必ず原稿ホルダーを取り付けてください。

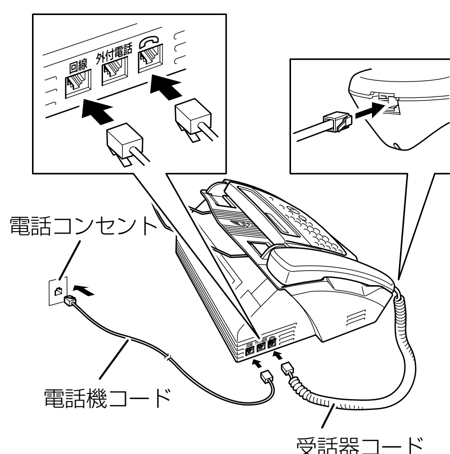


❷ 本体と受話器に受話器コードを差し込む

本体と受話器の接続端子に「**カチッ**」と音がするまで差し込みます。
受話器は、本体の受話器受けに置きます。

❸ 本体と電話コンセントに電話機コードを差し込む

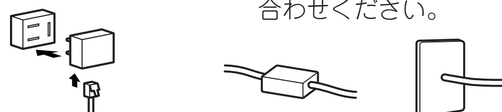
本体の回線接続端子と電話コンセントに「**カチッ**」と音がするまで差し込みます。



補足

電話コンセントがモジュラー式ではないとき

- 3ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。
- 直接配線式の場合は、別途工事が必要です。最寄りの NTT 窓口（116：無料）にお問い合わせください。



メモ

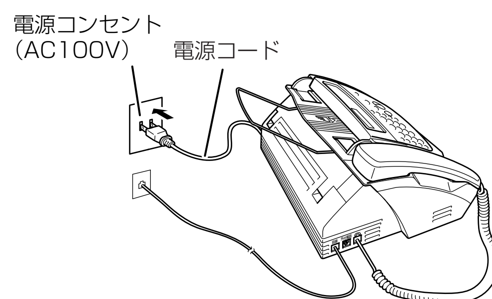
- 付属品の電話機コードをご使用にならない場合も、6極2芯の電話機コードをお使いください。



- ご使用のパソコンに「PHONE」端子または「TEL」端子がある場合は1つの電話回線でパソコンと本機の両方を接続してお使いいただけます。接続のしかたは17ページを参照してください。

❹ 電源コードをコンセント（AC100V）に差し込む

電源コードを接続すると、本機が回線種別の自動設定を始めます。



❺ 本機が回線種別を自動的に設定する

回線種別の自動設定が終了すると下記のいずれかが表示されます。

ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝﾃﾞｽ
10PPS ｶｲｾﾝﾃﾞｽ
20PPS ｶｲｾﾝﾃﾞｽ

次のように表示されたときは手動で回線種別を設定してください。（☞ 16ページ）

ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂｦ	⇄	ｾｯﾃｲｼﾃｸﾀﾞｻｲ

メモ

- いったん自動で回線種別を設定すると、電源コードを差し込み直しても再度自動で回線種別設定は行われません。設定し直したいときは手動で設定してください。
（☞ 16ページ）
- 電源の入切や操作パネルの開閉を行うと、記録紙のたるみをとるため、自動的に記録紙が送り出されカットされます。（オートカット機能）

本機を準備する

手動で回線種別を設定する

電話回線に何らかの問題があり自動で回線種別を設定できなかったとき、または設定し直したいときは手動で回線種別を設定します。
回線の種別がわからないときは、下記の「■ 利用中の回線種別の調べかた」を参照して、回線の種類を調べてから設定してください。

1 機能/確定 1 1 を押す

回線種別の設定が表示されます。

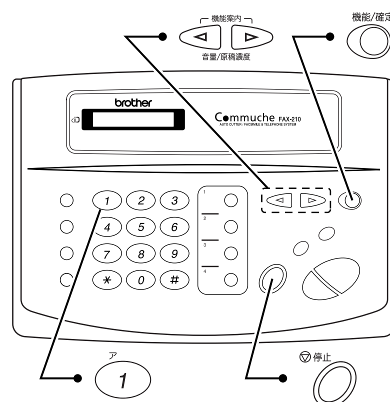
```
カイセン:ダ゛イヤル 20PPS
```

- 「カイセン:プ゜ッシュ」：プッシュ回線のとき
- 「カイセン:ダ゛イヤル 10PPS」：ダイヤル回線が10PPSのとき
- 「カイセン:ダ゛イヤル 20PPS」：ダイヤル回線が20PPSのとき
- 「カイセン:シ゛ド゛ウ セッテイ」：自動設定を行うとき

2 ◁ ▷ でご利用の回線を選び、機能/確定 を押す

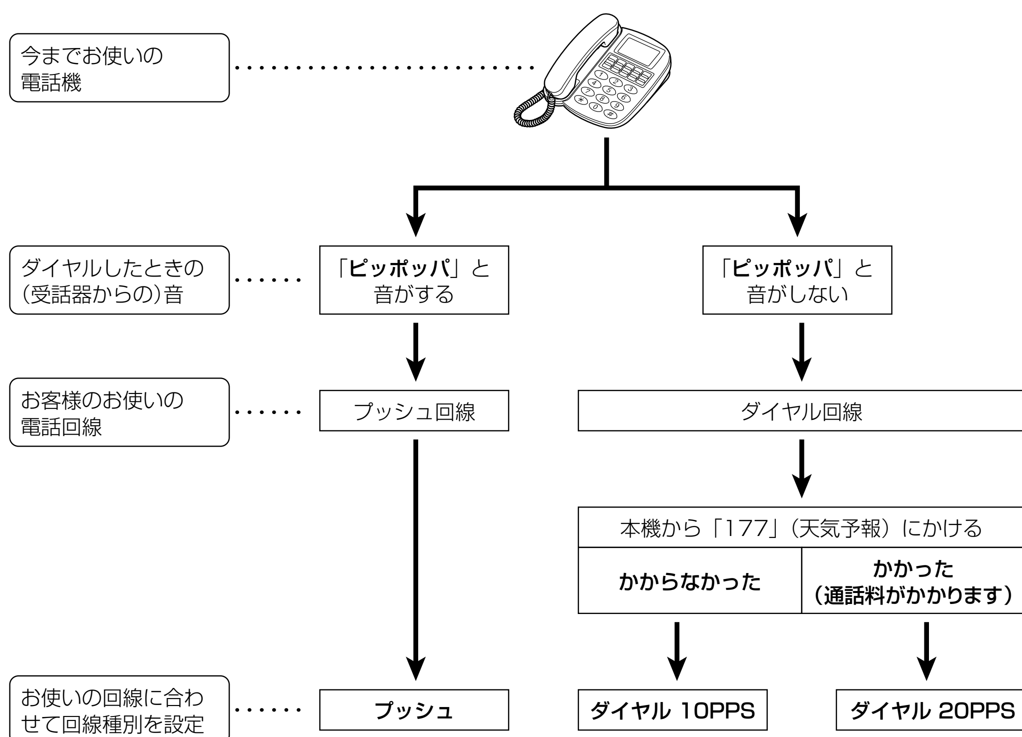
「ウケツケマシタ」と表示されます。

3 停止 を押す



■ 利用中の回線種別の調べかた

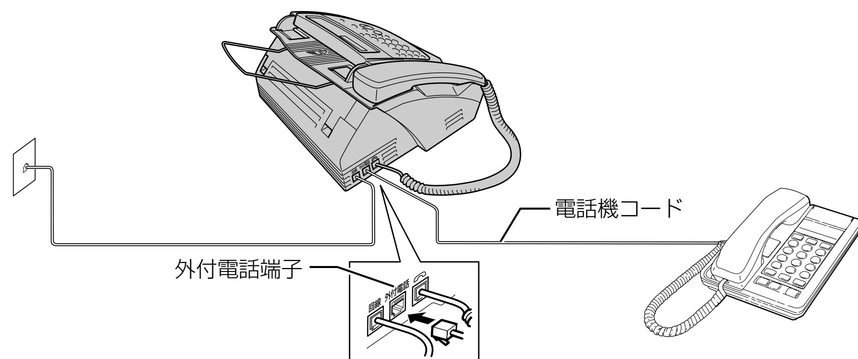
利用している電話回線の種別は次のようにして調べてください。もしもわからないときは、最寄りのNTTの支店、営業所またはNTT窓口（116：無料）にお問い合わせください。



他の機器を接続して使う

お使いの電話機を外付電話機として接続する場合は

外付電話端子部に貼付されているフィルムを外し、電話機コードを差し込みます。





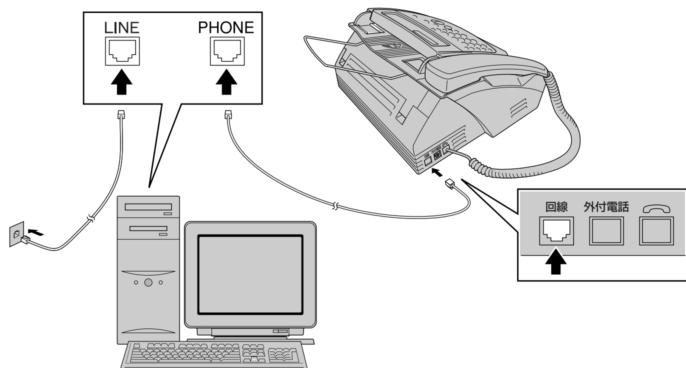
- 本機と外付電話機との間では、通話できません。
- 外付電話端子には、電話機を1台しか接続できません。電話機の種類（留守番電話機やホームテレホンなど）によっては、接続できないものや一部機能が使えなくなることがあります。外付電話機を留守番電話機として使用するときは、受信モードを「ｿﾄﾂﾞｹ ﾙｽﾃﾞﾝ」に設定します。（☞ 42ページ）
- ナンバー・ディスプレイ対応の外付電話機を接続するときは、外付電話機側のナンバー・ディスプレイ機能をはたらかないように設定してください。外付電話機にナンバー・ディスプレイ機能が設定されていると、誤動作の原因となります。
- お使いの電話回線に、すでに何台かの電話機などが接続されている場合（親子電話・ホームテレホン・ビジネスホンなど）は、本機あるいは外付電話機がご使用になれない場合があります。この場合は配線工事が必要で、工事には「電話工事担当者」の資格が必要となりますので親子電話・ホームテレホン・ビジネスホンの取付工事を行った販売店か、最寄りのNTT窓口へご相談ください。（116：無料）
- 親子電話・ホームテレホン・ビジネスホンなどに接続するときは、ナンバー・ディスプレイの設定を「ナシ」にしてください。（☞ 62ページ）

パソコンと接続する場合は

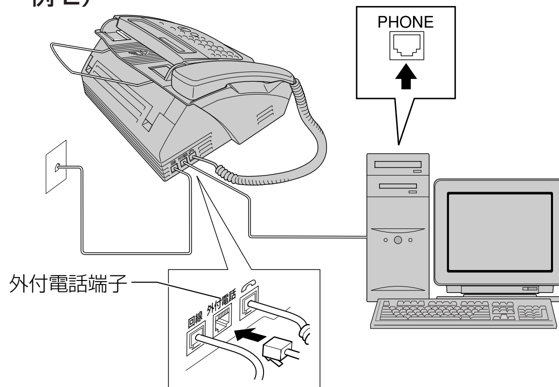
■ 一般回線でパソコンモデムを使う場合、「PHONE（TEL)」端子を使う場合

パソコン本体に「PHONE（TEL）」端子がある場合は、1つの電話回線でパソコンと本機を下記のように接続していただくことができます。
ただし、1本の電話回線を利用していますので、同時に両方で回線をご利用いただくことはできません。

例 1）



例 2）



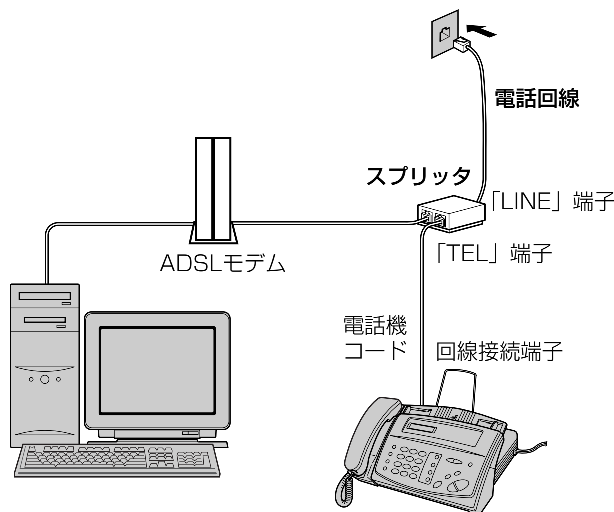


1本の電話回線に複数台の電話機を接続（並列接続）すると、ナンバー・ディスプレイやキャッチホン・ディスプレイなどに不具合が発生し、誤動作の原因となりますのでおやめください。（☞ 19ページ）

他の機器を接続して使う

■ ADSL回線をご利用の場合

本機をADSL回線のスプリッタに接続するときは、スプリッタの「TEL」端子に接続してください。



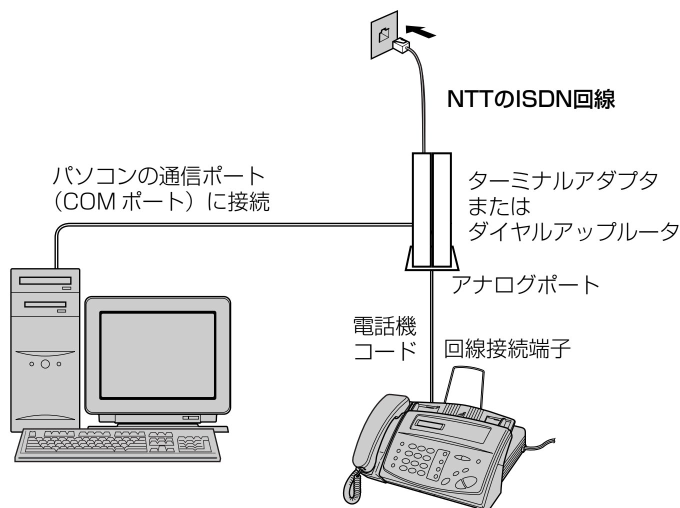


本機とパソコンは必ず「スプリッタ」で分岐してください。「スプリッタ」より前（電話回線側）で分岐すると並列接続となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。

■ ISDN回線をご利用の場合

本機をISDN回線のターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータに接続するときは、次の設定と確認を行ってください。

・本機：回線種別を「プッシュ」に設定する
・ターミナルアダプタ：本機を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるか確認する





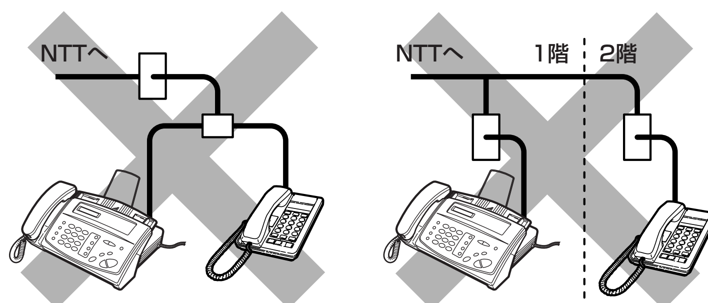
● 本機が使用できないときは、「故障かな？と思ったら」（☞ 72ページ）を参照してください。また、ターミナルアダプタの設定を確認してください。設定の詳細は、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧いただくか、製造メーカーにお問い合わせください。
● ナンバー・ディスプレイを契約されている場合は、ターミナルアダプタのデータ設定と本機の設定（☞ 62ページ）が必要です。

複数の電話機を接続するときは

■ ブランチ接続（並列接続）はしないでください

ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。

- ・ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の受話器をあげるとファクスの画像が乱れたり通信エラーが起きることがあります。
- ・電話がかかってきたとき、着信音が鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できないときがあります。
- ・本機で保留にした場合、並列電話機では本機の保留状態を解除できません。
- ・並列電話機から本機への転送はできません。
- ・ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
- ・パソコンを接続すると、本機が正常に動作しない場合があります。



家庭内にあるいくつかの電話のモジュラージャックにそれぞれ接続することはできません。

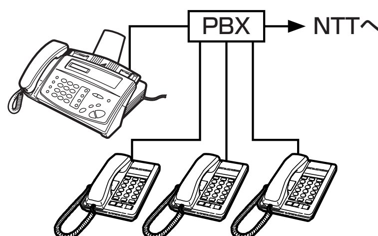


- ● **ブランチ接続（並列接続）は1つの電話回線に複数台の電話機を接続することです。**
- ● やむをえずブランチ接続をする場合は、市販の自動切換機などをご利用ください。

■ 構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンなどに接続する場合

構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンなどをお使いになる場合は、各製造メーカーまたは販売店にお問い合わせください。また、接続する場所によってはナンバー・ディスプレイがご利用になれないので、「ナシ」に設定してください。（☞ 62ページ）

例） 構内交換機（PBX）の場合





- ● **ビジネスホンとは**
  電話回線を2本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。
- ● **ホームテレホンとは**
  電話回線１本で複数の電話機を設置できて、内線通話なども可能な家庭用の簡易交換機です。

初期設定をする

現在の日付と時刻を設定する

日付と時刻はディスプレイに表示されるほか、ファクスを送信したとき送り先の記録紙に送信日時が印刷されます。また着信記録は、この設定日時に基づいて表示されるので必ず設定してください。

（例）「08/20　15：02　デンワ」に設定します。

1 （機能/確定）を押す

2 （1）（ｼｮｷ ﾄｳﾛｸ）を押す

3 （2）（ﾄｹｲ ｾｯﾄ）を押す

ネン：２０＿＿

4 （0）～（9）で西暦の下 2 桁を入力し（機能/確定）を押す

ネン：２００３

5 （0）～（9）で月を2桁で入力し、（機能/確定）を押す

ツキ：０８

6 （0）～（9）で日を2桁で入力し、（機能/確定）を押す

ヒヅケ：２０

7 （0）～（9）で時刻を24時間制（4桁）で入力し、（機能/確定）を押す

ジコク：１５：０２

「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

8 （停止）を押す

登録した日付と時刻が表示されます。

8月20日　午後3時2分　受信モード

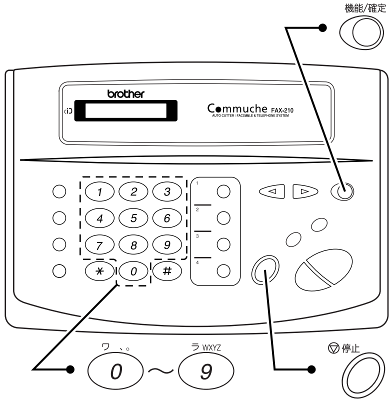
０８／２０　１５：０２　デンワ

補足

ディスプレイに表示されている「デンワ」については、受信モードで設定します。（「受信モードを設定する」
☞ 43ページ）

お願い

数字を入れ間違えたときは、（停止）を押して最初から入力し直すか、（◁）（▷）で間違えた箇所まで＿（カーソル）を移動し、入力し直してください。



名前と電話番号を登録する（発信元登録）

発信元となるファクス番号のほか電話番号、名前を登録します。ファクスを送信したときに相手の記録紙にファクス番号と名前が印刷されます。ファクス番号は必ず登録してください。

1 機能/確定 を押す

2 1（ｼｮｷ ﾄｳﾛｸ）を押す

3 3（ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ）を押す

4 0 ～ 9 でファクス番号を入力し、機能/確定 を押す

ファクス：０３△△△△○○○○_

5 0～9で電話番号を入力し、機能/確定 を押す

ファクス番号と同じ場合、再度同じ番号を入力してください。

デ゛ンワ：０３△△△△○○○○_

補足

電話番号は「送付書」（☞ 47ページ）に印刷されます。

6 0～9、＊、＃で名前を入力し、機能/確定 を押す

「文字の入れかた」（☞ 22ページ）

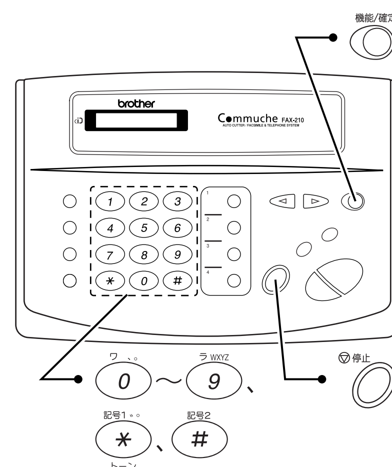
ナマエ：ブ゛ラザ゛ータロウ

「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

7 停止 を押す

メモ

- ファクス番号・電話番号は20桁まで登録できます。
- ファクス番号・電話番号の中に「−」ハイフンや「()」カッコ、「＊」、「#」の入力はできません。先頭に「+」（で入力）のみ入力できます。
- 名前は20文字まで登録できます。
- 数字、文字を入れ間違えたときは、◁ ▷で間違えた箇所まで＿（カーソル）を移動し、入力し直してください。また、＿（カーソル）を移動させたあと、停止を押すと、＿（カーソル）以降の数字、文字を消去することができます。



文字の入れかた

発信元登録、ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルの登録、各種コメントでは、ダイヤルボタンを使って文字を入力します。
入力できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字、記号です。

入力できる文字と入力制限

■ 入力できる文字 （文字列一覧表）

ボタン	カタカナ・英・数
ア 1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ 1
カ ABC 2	カ キ ク ケ コ A B C 2
サ DEF 3	サ シ ス セ ソ D E F 3
タ GHI 4	タ チ ツ テ ト ッ G H I 4
ナ JKL 5	ナ ニ ヌ ネ ノ J K L 5
ハ MNO 6	ハ ヒ フ ヘ ホ M N O 6
マ PQRS 7	マ ミ ム メ モ P Q R S 7
ヤ TUV 8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ T U V 8
ラ WXYZ 9	ラ リ ル レ ロ W X Y Z 9
ワ 、。 0	ワ ヲ ン 、 。 ー 0
記号1 ゛゜ ＊ トーン	゛ ゜ ー ( ) ／ &
記号2 #	（スペース） ! ? @ # ＊ + $ % . , " ' : ; _ = 〈 〉 [ ] ˆ

■ 入力できる文字の種類や文字数

項目	半角カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話番号・ファクス番号	×	○（＊1）	20文字
名前	○	○	15文字（＊2）

＊1： 電話番号入力時は、0〜9、「＊」、「#」、ポーズ（約3秒間の待ち時間）のみ入力できます。
発信元登録の電話番号・ファクス番号入力時には、0〜9、先頭に「+」（＊で入力）のみ入力できます。
ポーズは再ダイヤル/ポーズ○で入力します。入力したポーズは「−」で表示されます。

＊2： 発信元登録時のみ、名前は20文字まで入力できます。

基本的な文字入力のしかた

文字入力のしかた	操作
● 文字入力	該当する0〜9を押す。
● 文字と文字の間に空白を入れるには	#を1回押す、または▷を2回押す。
● 同じダイヤルボタンを使って入力する文字が続くときは	▷を1回押して＿(カーソル)を移動する。(移動しない場合は文字が重ね書きされる。)
● 文字を修正するには	◁▷で修正したい位置まで＿(カーソル)を移動させ、入力し直す。
● カーソル位置以降の文字を削除するには	◎を押す。



文字の挿入はできません。

文字の入力例

「発信元登録」や「ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルの登録」を行う場合の名前の入力を例に、基本的な文字入力のしかたを説明します。
例として、「スズキ　ケイコ」を入力します。

入力する文字	ディスプレイ表示：ﾅﾏｴ：ｽｽﾞｷ ｹｲｺ 操作
ス	3を3回押す。
(次の文字に移動する)	▷を1回押す。
ズ	3を3回押し、＊を1回押す。
キ	2を2回押す。
(空白)	#を1回押す、または▷を2回押す。
ケ	2を4回押す。
イ	1を2回押す。
コ	2を5回押す。
(入力した文字の確定)	◎を押す。

電話やファクスの受けかた

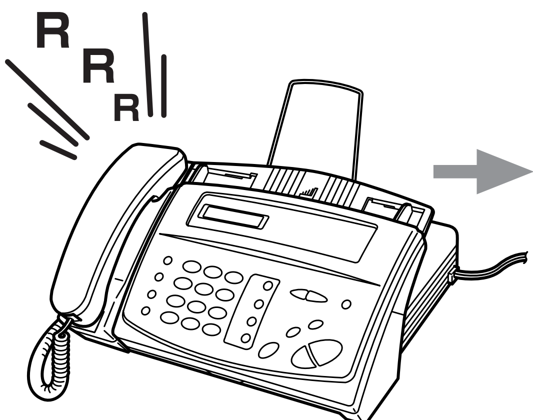
受信のしかた

電話／ファクスを受信するときは、「電話モード」、「ファクス専用モード」、「ファクス/電話自動切替モード」とお使いの留守番電話機を接続して使う「外付留守番電話モード」があります。目的に応じて使い分けてください。（「受信のしかた」☞ 42ページ）



家にいるとき

電話もファクスも適度に使うとき（ファクス／電話自動切替モード）　※お買い上げ時



設定した回数の着信音が鳴ります。



・お買い上げ時の呼出ベル回数は4回に設定されています。
（呼出ベル回数は､0回から10回まで設定できます。）
・ファクスが自動受信できないときには、呼出回数を6回以下に設定してください。

ここから通話料金がかかります。

電話のとき

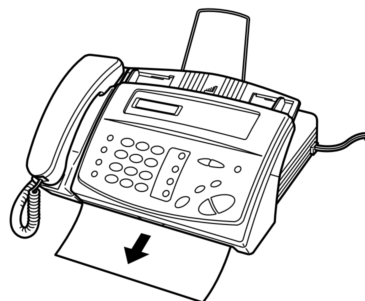


再呼び出しを始めます。電話をとってお話ください。



電話に出ないときは、再呼び出しが終わると回線が切れます。

ファクスのとき



自動受信します。



呼出ベル回数の設定（☞ 43ページ）

再呼び出し（☞ 44ページ）





- 設定した回数の着信音が鳴り回線がつながったあとは、あらかじめ設定されている着信音とは違うベル音「トゥルッ、トゥルッ」で呼び出します。
- 回線がつながると相手には「この電話は電話とファクスに接続されています。電話の方は呼び出しておりますのでそのまましばらくお待ちください。ファクスの方は“ピー”という音のあとに送信してください。」というメッセージが流れます。



色々な受信のしかた

使い方に応じて、受信モード・呼出ベル回数を設定してください。
(「受信のしかた」☞42 ページ、「呼出ベル回数を設定する」☞43 ページ)

呼び出し		再呼び出し	受信モード
ファクスのときは着信音を鳴らさず受信する **呼出ベル回数を0回に設定します。** **着信音は鳴りません。**	自動的に回線がつながります。	電話のときはベル音が鳴ります。電話をとってお話ください。 ファクスのときは自動で受信します。	**ファクス/電話自動切替モード** 08/15 15:25 F/T
ファクス専用として使う **設定した回数の着信音が鳴ります。** 呼出回数分の着信音が鳴ります。 この時点で電話をとると、お話できます。	自動的に回線がつながります。	電話のときは電話をとることはできません。 ファクスのときは自動で受信します。	**ファクス専用モード** 08/15 15:25 ファクス
電話として使う(ファクスのときは手動で受信する) もしもし **着信音が鳴り続けます。**		電話のときはそのままお話ください。 ファクスのときは、スタートを押して受信します。	**電話モード** 08/15 15:25 デンワ
回線がつながるまでの呼出ベル回数を設定してください。		**ここから通話料金がかかります。**	



留守にするとき

外付電話端子(外付電話)にお使いの留守番電話機を接続し、留守モードにセットします。
本機の受信モードを外付留守番電話モード(ソトツケ)にします。

外付留守番電話モード

08/15 15:25 ソトツケ



回線がつながると

外付留守番電話機
(呼出回数を設定します。)
相手が電話のときは留守応答します。

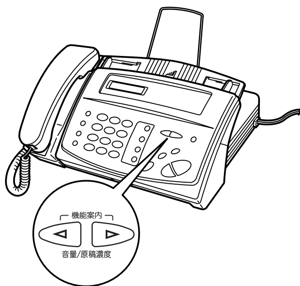
本機
相手がファクスのときは自動で受信します。

音量を設定する

着信音量、受話音量、スピーカー音量、キータッチ音量を調整します。
各音量は◁▷を押すごとに切り替わります。

着信音量を設定する

着信時の音量を調整します。通話中でないときに設定できます。



1 ◁▷で音量を調整する

ショウ■■　　　ダ゛イ

着信音量は、「OFF」と3段階の調整ができます。

OFF	ショウ　　　　ダ゛イ
1段階	ショウ■■　　　ダ゛イ
2段階	ショウ■■■■　ダ゛イ
3段階	ショウ■■■■■■ダ゛イ

メモ
- 着信音量を「OFF」に設定していても、下記の音は最小音量で鳴ります。
  - ・自動着信したあと、相手が電話だということを知らせる「トゥルッ、トゥルッ」という再呼び出し音
  - ・電話予約時の着信音
- 約2秒間操作しないと待ち受け画面に戻ります。

受話音量を設定する

受話器を持って通話するときの音量を調整します。受話器で通話中のときに設定できます。
受話音量は、相手先との回線状況によって変化しますので、必要に応じて音量を調整してください。



1 通話中に◁▷で音量を調整する

ショウ■■　　　ダ゛イ

受話音量は、2段階の調整ができます。

1段階	ショウ■■　　　ダ゛イ
2段階	ショウ■■■■　ダ゛イ

メモ
約2秒間操作しないと「ツウワチュウ」の表示になります。

スピーカー音量を設定する

スピーカーの音量を調整します。オンフック を押して「ツー」という音が聞こえているときに設定できます。



1 機能案内 ◁ ▷ 音量/原稿濃度 で音量を調整する

```
ショウ████    ダ゛イ
```

スピーカー音量は、「OFF」と3段階の調整ができます。

OFF	ショウ　　　　ダ゛イ
1段階	ショウ██　　ダ゛イ
2段階	ショウ████　ダ゛イ
3段階	ショウ██████ダ゛イ

メモ
約2秒間操作しないと「ツウワチュウ」の表示になります。

キータッチ音量を設定する

操作パネルのボタンを押したときの音量を調整します。お買い上げ時は、「ショウ」に設定されています。

1 機能/確定 1 4 を押す

キータッチ音量の設定が表示されます。

```
オンリョウ:ショウ
```

キータッチ音量は「OFF ／ショウ／チュウ／ダイ」から選びます。

2 機能案内 ◁ ▷ 音量/原稿濃度 で音量を選び、機能/確定 を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。

3 停止 を押す

メモ
キータッチ音は 機能案内 ◁ ▷ 音量/原稿濃度 で変更後、一時的に選択した音量に変わりますが、機能/確定 を押さないともとの音量に戻ります。また約1分間操作しない場合、または 停止 を押した場合ももとの音量に戻ります。

着信音を設定する

電話やファクスの着信音を設定します。本機には、4種類のベル音が登録されています。
お買い上げ時は、「ベル1」に設定されています。



着信音は、受話器を置いた状態で設定してください。（受話器をあげていると設定できません。）

1 機能/確定 1 5 を押す

現在選択されている着信音が表示され、着信音が聞けます。

ベ゛ル1

着信音は「ベル1～4」から選びます。

2 ◁ ▷で着信音を選び、機能/確定 を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。

3 停止 を押す



構内交換機（PBX）やターミナルアダプタなどに接続している場合で、着信音を「ベル1」に設定しているときは、メニュー選択時に聞こえる「ベル1」の音と異なるベル音が鳴ることがあります。

第２章

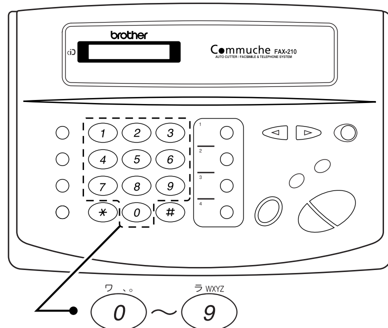
電　話

基本的なかけかた／受けかた

ダイヤルボタンでかける

ダイヤルボタンで相手の電話番号を入力して電話をかけます。

1 受話器をとり、0〜9で相手の電話番号を入力する



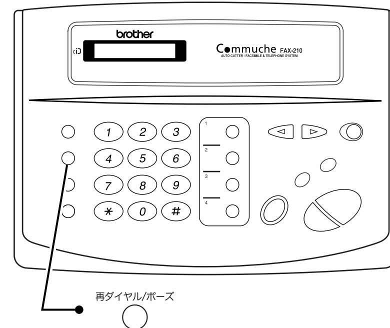
補足

通話が終わったら受話器を戻します。

再ダイヤルでかける

最後にかけた電話番号に電話をかけます。

1 受話器をとり 再ダイヤル/ポーズ を押す



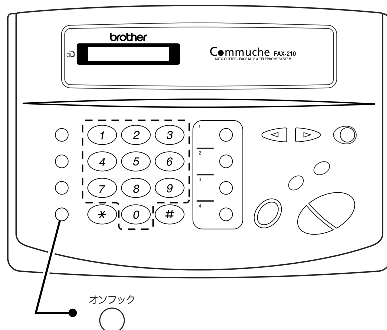
補足

通話が終わったら受話器を戻します。

オンフックでかける

受話器を置いたまま電話をかけ、受話器を使って相手と通話します。

1 オンフック を押し、相手の電話番号を入力する



2 相手が電話に出たら受話器をとる

補足

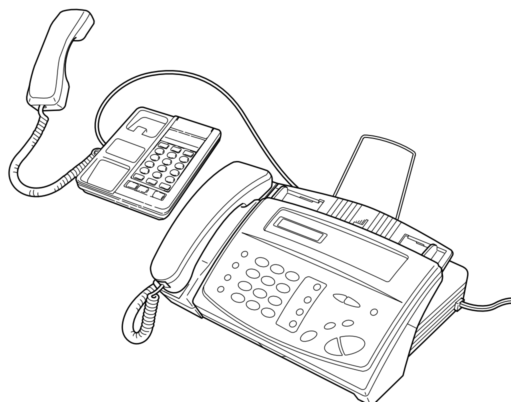
- 通話が終わったら受話器を戻します。
- 操作を途中でやめるとき、かけ直すときは、再度 オンフック を押します。

外付電話機でかける

外付電話機を使用しているときは、外付電話機からも電話をかけることができます。

外付電話機で電話をしているときは、本機のディスプレイに「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ｼﾖｳﾁｭｳ」と表示されます。

電話のかけかたについては、使用する電話機の取扱説明書をお読みください。



受話器をとって受ける

着信音が鳴ります。

1 受話器をとる

電話がつながります。




補足

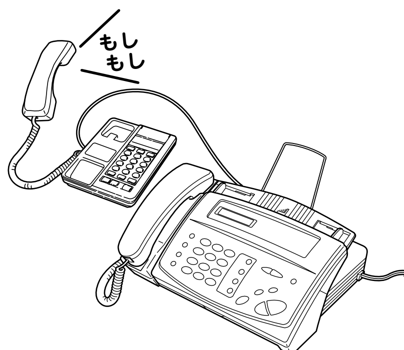
通話が終わったら受話器を戻します。

外付電話機で受ける

着信音が鳴ります。

1 外付電話機の受話器をとる

電話がつながります。




補足

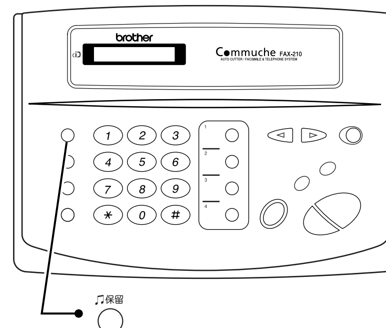
通話が終わったら受話器を戻します。

通話を保留にする

相手にちょっと待って欲しいとき、通話を保留できます。保留にしている間は保留音「グリーンスリーブス」が流れます。

1 通話中に♫保留◯を押し、受話器を置く

「ホリュウ　チュウ」と表示されます。
通話が保留されます。（受話器を置かなくても保留されています。）



2 通話に戻るときは、再度受話器をとる

受話器を置かなかったときは、再度♫保留◯を押すと通話に戻ることができます。

電話の便利な使いかた

電話帳に登録する

よく電話をかけるお友達や緊急時の連絡先などを「電話帳（ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル）」に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。ワンタッチダイヤル 1 〜 4 および短縮ダイヤル（01〜80）には、電話番号（20桁まで）・相手先名称（15文字まで）を登録することができます。

■ ワンタッチダイヤルを登録する

1 機能/確定 5 1 を押す

ワンタッチダイヤルを登録する表示になります。

ワンタッチボ゛タン　シテイ

2 登録するワンタッチダイヤルボタン 1 〜 4 を押す

電話番号を入力する表示になります。

＃０１：＿

「＃」と選択したワンタッチダイヤルボタンの番号（01〜04）が表示されます。

3 電話番号を入力し、機能/確定 を押す

名前を入力する表示になります。
「文字の入れかた」（☞ 22ページ）

ナマエ：＿

4 相手の名前を入力し、機能/確定 を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。

5 停止 を押す

登録を終了します。

■ ワンタッチダイヤルを変更する／削除する

1 機能/確定 5 1 を押す

ワンタッチダイヤルを登録する表示になります。

ワンタッチボ゛タン　シテイ

2 変更するワンタッチダイヤルボタン 1 〜 4 を押す

登録されている名前と「ヘンコウ　1．スル　2．シナイ」が交互に表示されます。

3 1 を押す

登録されている電話番号が表示されます。

＃０１：０３５５△△１１

4 変更するときは、「登録する」の手順3、4と同様の手順で登録内容を変更する
削除するときは、停止 を押し、登録した電話番号をすべて削除した状態で 機能/確定 を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。

補足
操作を途中でやめるときは、停止 を押し、「トリケシハテイシボ゛タン」と表示中に再度 停止 を押します。

5 停止 を押す

■ 短縮ダイヤルを登録する

1 機能/確定 5 2 を押す

短縮ダイヤルを登録する表示になります。

```
タンシュク ダ゛イヤル？ ＊
```

2 登録する短縮番号（01～80）を入力し、機能/確定を押す

電話番号を入力する表示になります。

```
＊01：_
```

「＊」と選択した短縮番号（01～80）が表示されます。

3 電話番号を入力し、機能/確定を押す

名前を入力する表示になります。
「文字の入れかた」（☞ 22ページ）

```
ナマエ：_
```

4 相手の名前を入力し、機能/確定を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。

5 停止を押す

登録を終了します。

■ 短縮ダイヤルを変更する／削除する

1 機能/確定 5 2 を押す

短縮ダイヤルを登録する表示になります。

```
タンシュク ダ゛イヤル？ ＊
```

2 変更する短縮番号を入力し、機能/確定を押す

登録されている名前と「ヘンコウ 1．スル 2．シナイ」が交互に表示されます。

3 1 を押す

登録されている電話番号が表示されます。

```
＊01：0355△△11
```

4 変更するときは、「登録する」の手順3、4と同様の手順で登録内容を変更する
削除するときは、停止を押し、登録した電話番号をすべて削除した状態で機能/確定を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。

補足
操作を途中でやめるときは、停止を押し、「トリケシハ テイシボ゛タン」と表示中に再度停止を押します。

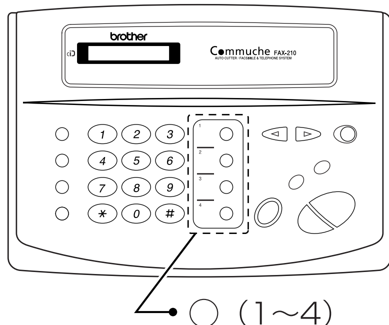
5 停止を押す

電話の便利な使いかた

ワンタッチダイヤルでかける

1〇～4〇に登録した電話番号に電話をかけます。（電話番号はあらかじめ1〇～4〇に登録しておきます。☞ 32ページ）

1 受話器をとり、1〇～4〇を押す



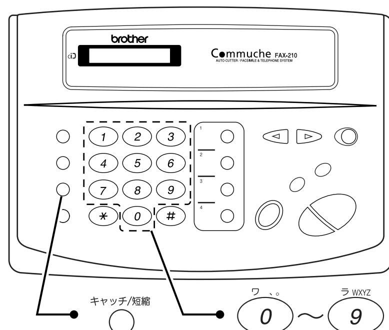
補足

通話が終わったら受話器を戻します。

短縮ダイヤルでかける

短縮番号（01～80）に登録した電話番号に電話をかけます。（電話番号はあらかじめ「短縮ダイヤル」として登録しておきます。☞ 33ページ）

1 受話器をとり キャッチ/短縮〇 を押し、0～9で短縮番号（01～80）を押す



補足

通話が終わったら受話器を戻します。

電話帳から探してかける

「ワンタッチダイヤル」や「短縮ダイヤル」に登録した電話番号を、「名前の頭文字」で呼び出して電話をかけます。（名前の頭文字を入力しない場合は、『カナ（五十音順）→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号』の順に電話番号を呼び出すことができます。）

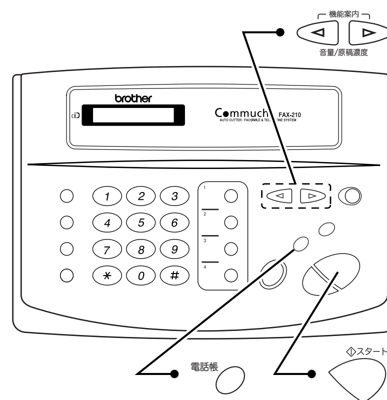
1 受話器をとり、電話帳〇を押す

名前の頭文字を入力しないときは ☞ 手順3へ

2 相手の名前の頭文字を入力する

「文字の入れかた」（☞ 22ページ）

3 機能案内 ◁ ▷ 音量/原稿濃度 を押して相手の名前を表示させ、スタートを押す



補足

通話が終わったら受話器を戻します。

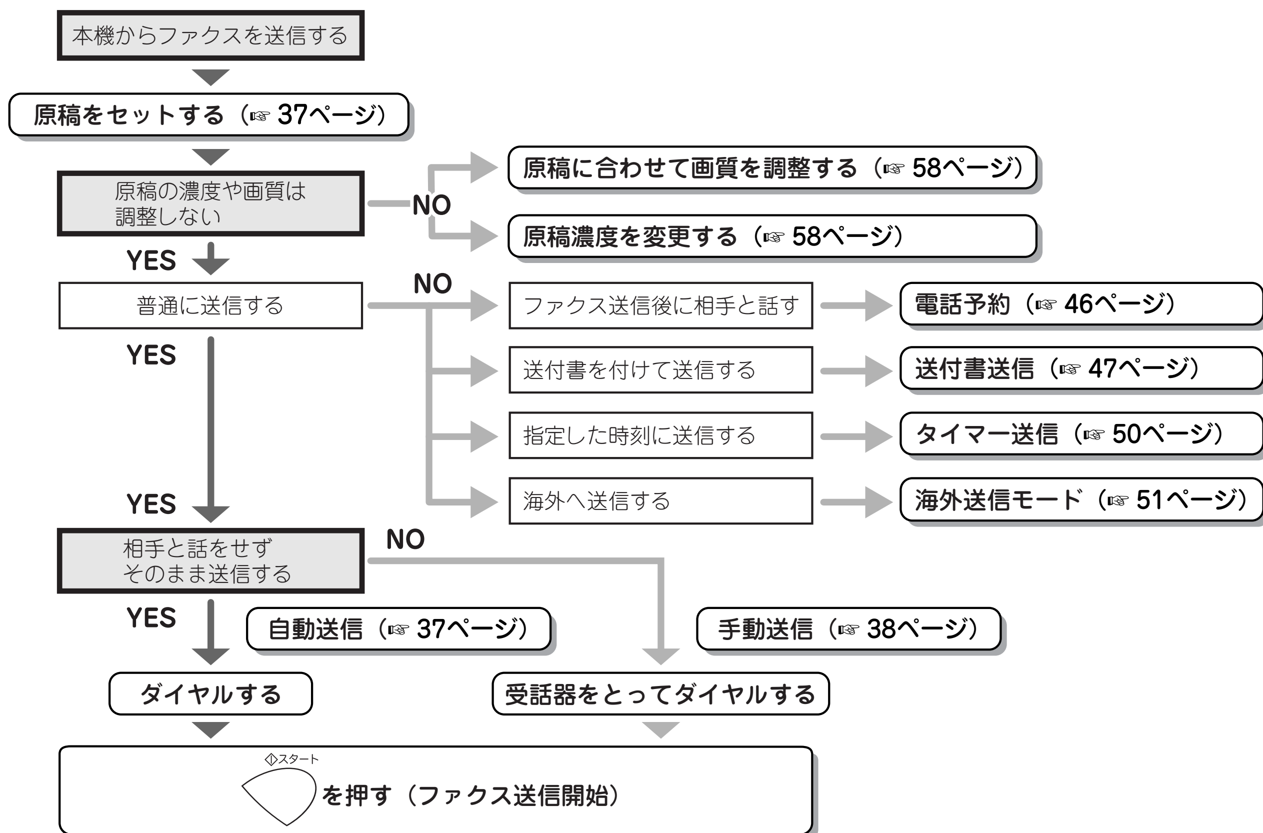
第３章

ファクス

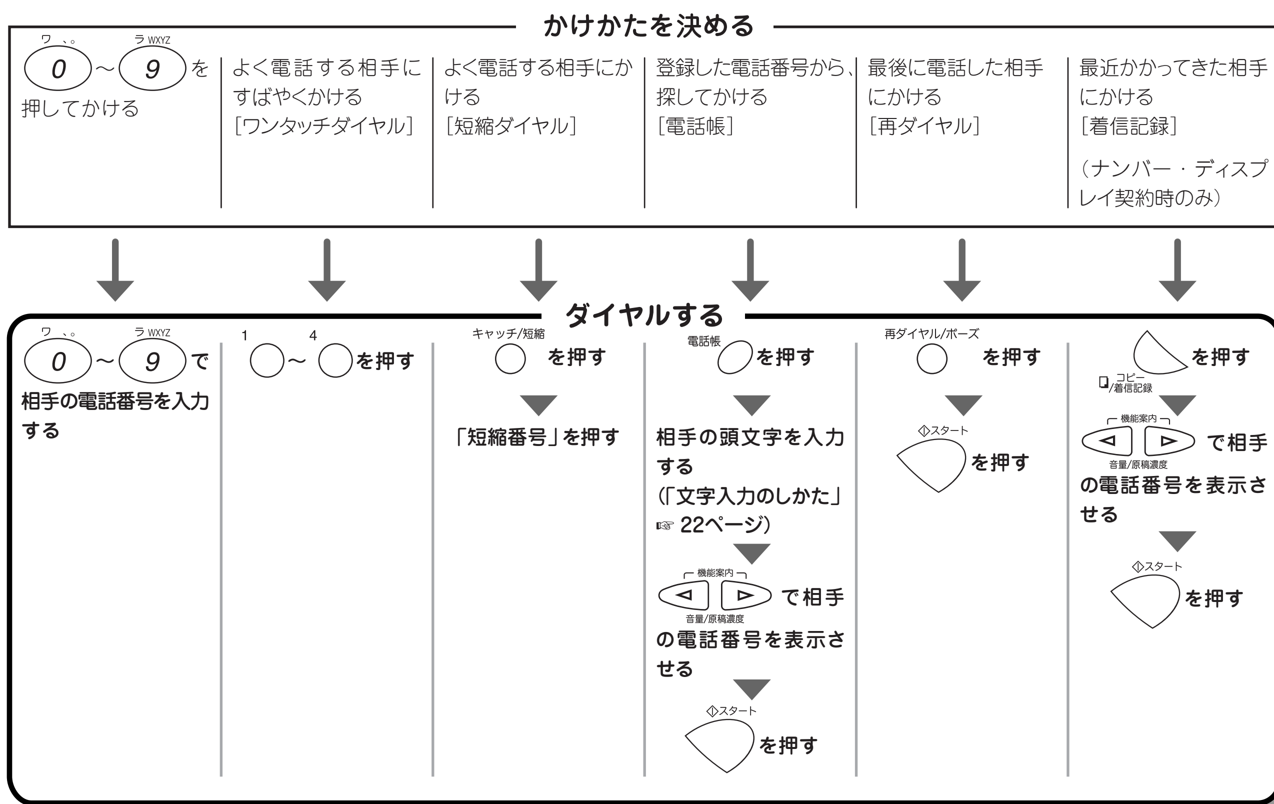
ファクスを送る

こんな送信ができます

本機では、次のような流れで必要に応じたファクス送信をすることができます。

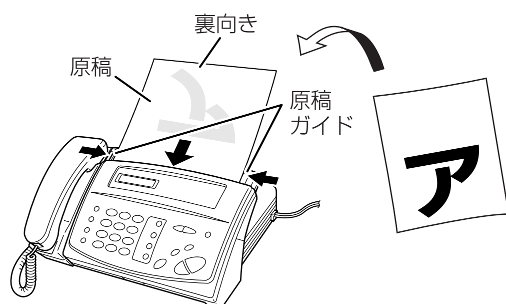


■ファクスを送るときも、電話をするときと同じようにいろいろな方法でダイヤルすることができます。



原稿のセットのしかた

ファクスを送信するときは、次のように原稿を裏向きにセットします。(「原稿/記録紙について」☞ 78ページ)



原稿が正しくセットされると下記のメッセージが表示されます。

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	⇄	ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

補足

- 一度に10枚までセットできます。
- 原稿が静電気でくっついていないか確認します。
- 原稿の先端をそろえ、原稿ガイドにそって、先が軽く当たるまで差し込みます。

■ セットした原稿を取り出すには

・送信開始前：そのまま原稿を上方向に取り除いてください。

・送信中　　：停止を押すと、ファクス送信が中断されます。送り込まれていない原稿は、上方向に取り除いてください。
「ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されたら、再度停止を押してください。すでに送り込まれている原稿が排出されます。

メモ

- ファクスを送信するときは、記録紙がセットされていることを確認してください。
- 原稿が正常に送信できなかったとき、自動的に送信レポートが印刷されます。

ファクスだけをすぐに送信する［自動送信］

1 原稿を裏向きにセットする

原稿に合わせて画質を調整できます。
(☞ 58ページ)

2 受話器をおいたまま、相手の電話番号を入力する



補足

他にいろいろな方法でダイヤルすることができます。(☞ 36ページ)

3 スタートを押す

ファクス送信を開始します。
送信後は「ピー」という音がします。

■ 自動送信を中止するには

停止を押します。すでに原稿が送り込まれているときは、再度停止を押すと原稿が排出されます。

ファクスを送る

相手と話をしてから送信する［手動送信］

1 原稿を裏向きにセットする

原稿に合わせて画質を調整できます。
（☞ 58ページ）

2 受話器をとる（または オンフック を押す）

3 相手の電話番号を入力する

4 相手が出たらファクスを送ることを伝え、相手側のファクスの「スタートボタン」を押してもらう

相手のファクスが受信できる状態になると「ピーヒョロ...」という音が聞こえます。相手が電話に出ず「ピーヒョロ...」という音が聞こえたときは、相手のファクスはファクスを受信できる状態になっています。
手順2で オンフック を押したときは、受話器をとります。

5 スタート を押す

ファクス送信を開始します。

6 受話器を戻す

送信後は「ピー」という音がします。

■ 手動送信を中止するには

受話器を戻します。（または オンフック を押します。）すでに スタート を押したときは、 停止 を押します。再度 停止 を押すと原稿が排出されます。

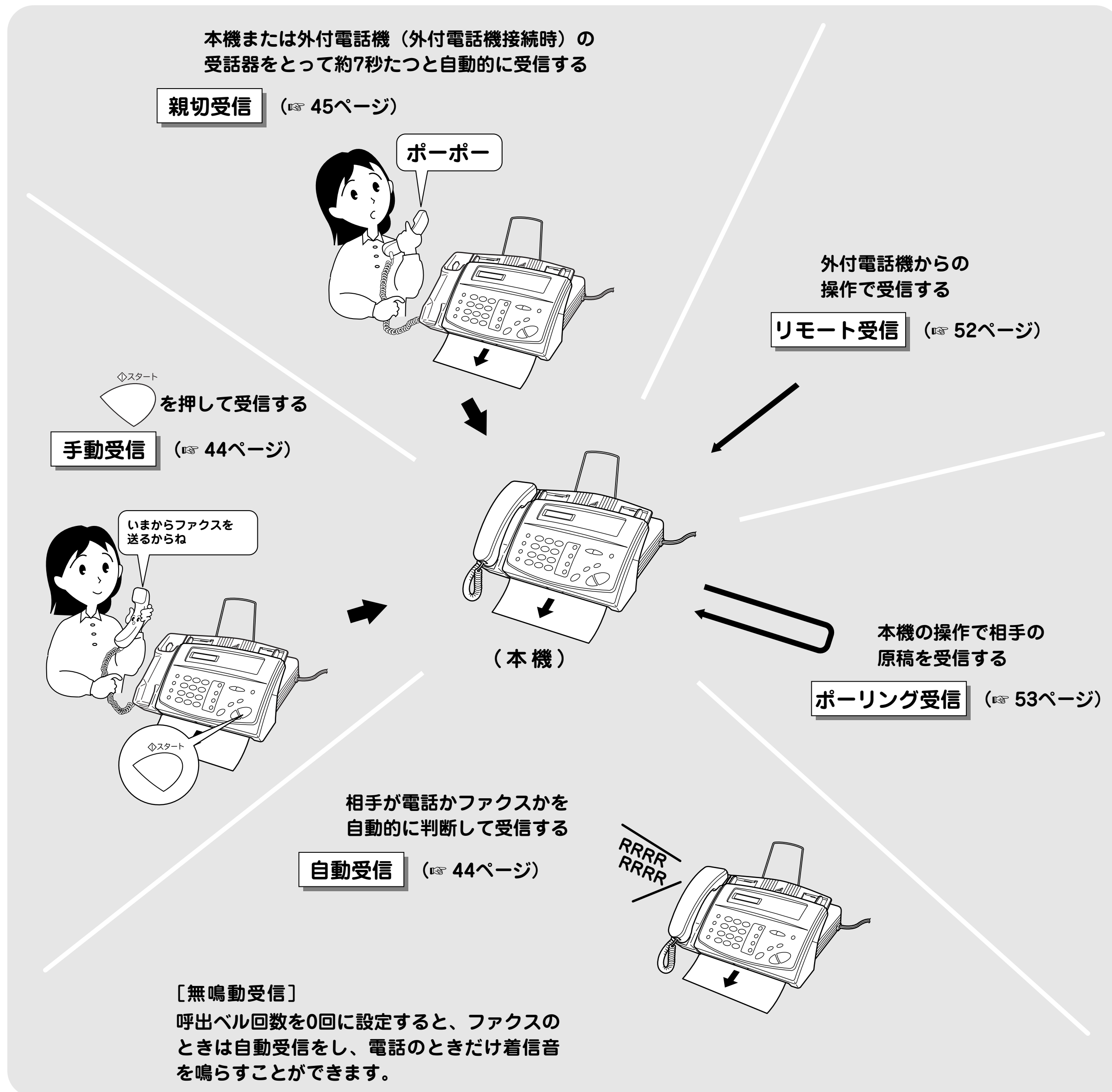
■ 送信できなかったときは

- 「自動送信」でファクスを送信した場合、相手が通話中などの理由で送信できなかったときは、5分おきに3回まで「再ダイヤル」を行い、「ｻｲﾀﾞｲﾔﾙ ﾀｲｷﾁｭｳ」と表示されます。（再ダイヤルを中止するには 停止 を押します。）それでも送信できなかったときは、送信レポートが印刷されます。
- 「手動送信」でファクスを送信した場合、自動再ダイヤルは行われません。同じ相手に再度ダイヤルするときは 再ダイヤル/ポーズ を押します。

ファクスを受ける

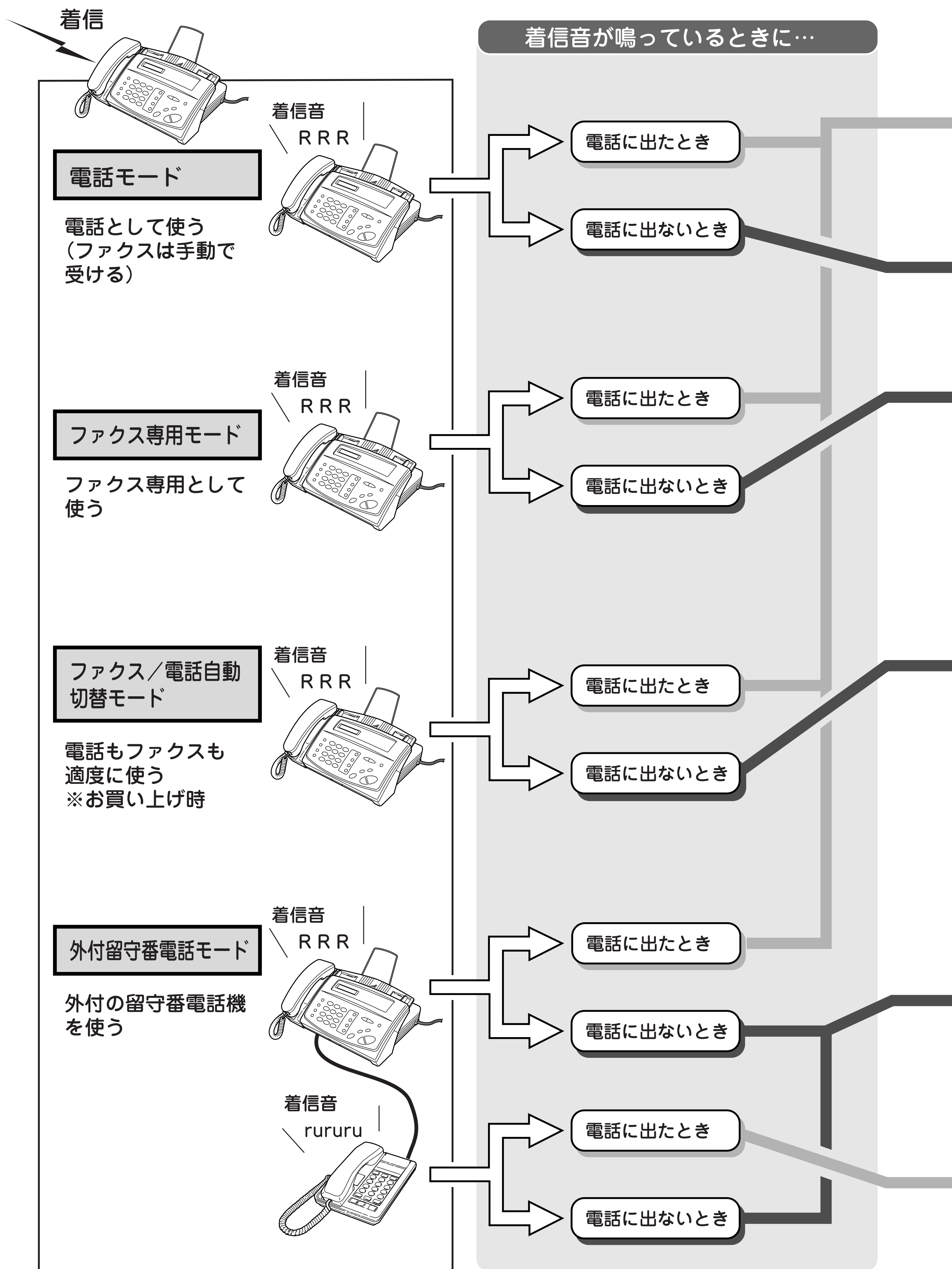
こんな受信ができます

本機では次のような受信をすることができます。（ただし、記録紙をセットしていないと、本機はファクスを受信することはできません。）

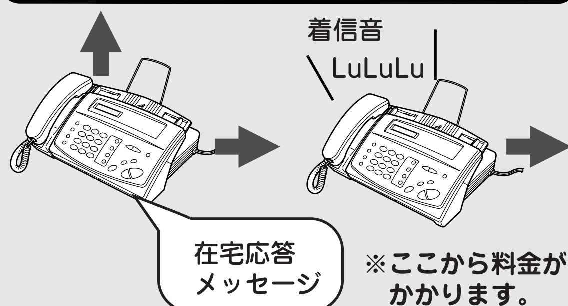


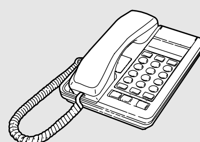
第1章 最初にお読みください
第2章 電話
第3章 ファクス
第4章 コピー
第5章 活用する
第6章 困ったときは
付録

ファクスを受ける


着信
着信音が鳴っているときに…
電話モード
電話として使う
（ファクスは手動で
受ける）
着信音
RRR
電話に出たとき
電話に出ないとき
ファクス専用モード
ファクス専用として
使う
着信音
RRR
電話に出たとき
電話に出ないとき
ファクス／電話自動
切替モード
電話もファクスも
適度に使う
※お買い上げ時
着信音
RRR
電話に出たとき
電話に出ないとき
外付留守番電話モード
外付の留守番電話機
を使う
着信音
RRR
電話に出たとき
電話に出ないとき
着信音
rururu
電話に出たとき
電話に出ないとき

相手がファクスのとき	相手が電話のとき
「ポーポー」という音が聞こえます。 スタートを押してファクスを受信します。 ［手動受信］	そのまま通話します。 相手がファクスを送りたいときは スタートを押してファクスを受信します。
受信できません。	着信音が鳴り続けます。
自動的にファクスを受信します。［自動受信］	自動的に回線が切れます。
自動的にファクスを受信します。［自動受信］ （参考） **［ファクス／電話自動切替モード］で呼出ベル回数を0回に設定すると、ファクスのときは自動受信し、電話のときだけ着信音を鳴らすことができます。 ［無鳴動受信］**	（着信音が鳴っています。） **電話に出たとき** そのまま通話します。 相手がファクスを送りたいときは スタートを押してファクスを受信します。 **電話に出ないとき** 「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は“ピー”という音のあとに送信してください。」とメッセージが流れ回線が切れます。
自動的にファクスを受信します。［自動受信］	外付電話機が対応します。
［親切受信］でファクスを受信します。	そのまま通話します。





ファクスを受ける

受信のしかた

ファクスや電話を受けるとき、本機では4つの受信のしかた（受信モード）を選ぶことができます。
受信モードは押すごとに切り替わり、選んだ受信モードはディスプレイに表示されます。
お買い上げ時は「ファクス／電話自動切替モード」に設定されています。
受信モードは、使い方に応じて次のように設定します。呼出ベル回数は受信モードに応じて自動的に設定されますが、指定の範囲内で変更することもできます。

本機の設定 ＼ 使い方	受信モード 受信モード切替時の表示 待ち受け時の表示	呼出ベル回数	参照
電話として使う （ファクスは手動で受ける）	電話モード [ﾃﾞﾝﾜ=ﾃﾞﾝﾜ ﾓｰﾄﾞ] [08/15 15:25 ﾃﾞﾝﾜ]	無制限 （着信音が鳴り続けます。 ファクスには切り替わりません。）	43ページ
ファクス専用として使う	ファクス専用モード [ﾌｧｸｽ=ﾌｧｸｽ ｾﾝﾖｳ] [08/15 15:25 ﾌｧｸｽ]	00〜10回 （ファクスを受信するまでの 呼出ベル回数を設定します。）	
電話もファクスも適度に使う ※お買い上げ時	ファクス／電話自動切替モード [F/T=FAX/TEL ｷﾘｶｴ] [08/15 15:25 F/T]	00〜10回 （ファクスを受信するまでの 呼出ベル回数を設定します。）	
外付の留守番電話機を使う*	外付留守番電話モード [ｿﾄﾂｹ=ｿﾄﾂﾞｹ ﾙｽﾃﾞﾝ] [08/15 15:25 ｿﾄﾂｹ]	外付の留守番電話機で設定します。	

*：（1）「ｿﾄﾂﾞｹ ﾙｽﾃﾞﾝ」は本機の外付電話端子に留守番電話機が接続されているときのみ、有効なモードです。
（2）外付電話端子に接続された留守番電話機は次のように設定します。
- 留守モードに設定してください。
- 応答するまでの呼出回数は短め（1〜2回）に設定してください。
- 応答メッセージの最初に4〜5秒の無音部分を入れてください。
- 応答メッセージはできるだけ短め（20秒以内）にしてください。
- 応答メッセージにBGMを録音しないでください。
- テープを使って録音するタイプの留守番電話機のときは、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。



お買い上げ時は「親切受信」が「ON」に設定してあります。（「親切受信」☞45ページ）「親切受信」を「ON」に設定しているときは、外付電話機で電話に出て、相手がファクスだったときでも、自動的にファクスを受信することができます。（「親切受信」が「OFF」に設定してあるときは、ファクスを受信するには、お客様自身が本機の スタート を押す必要があります。）

受信モードを設定する

ファクスや電話を受けるとき、本機では 4 つの「受信モード」(受信のしかた)を選ぶことができます。受信モードは押すごとに切り替わり、選んだ受信モードはディスプレイに表示されます。お買い上げ時は「ファクス/電話自動切替モード」に設定されています。

1 受信モード/画質 ◯ を押し、受信モードを選ぶ

受信モードの設定が表示されます。

```
F/T=FAX/TEL キリカエ
```

受信モードは、受信モード/画質 ◯ を押すごとに切り替わります。

- 電話モード
  「デ゛ンワ=デ゛ンワ モ-ト゛」
  :電話として使うとき(ファクスは手動で受ける)
- ファクス専用モード
  「ファクス=ファクス センヨウ」
  :ファクス専用として使うとき
- ファクス/電話自動切替モード
  「F/T=FAX/TEL キリカエ」
  :電話もファクスも適度に使うとき
- 外付留守番電話モード
  「ソトツケ=ソトヅ゛ケ ルスデ゛ン」
  :外付の留守番電話機を使うとき

補足

- 原稿がセットされていないことを確認してください。原稿がセットされていると、画質を調整する表示になります。
- 約2秒間操作しないと、待ち受け画面に戻ります。

呼出ベル回数を設定する

受信モードが「ファクス専用モード」・「ファクス/電話自動切替モード」のときファクスを受信するまでの呼出ベル回数を設定します。着信音が鳴り終わると、ファクスの自動受信や「在宅応答メッセージ」の再生を行います。お買い上げ時の呼出ベル回数は4回に設定されています。

1 機能/確定 ◯ カ ABC 2 ア 1 を押す

呼出ベル回数の設定が表示されます。

```
カイスウ:04
```

呼出ベル回数の設定は、「0〜10回」から選びます。

- 「0〜3回」: ファクス専用モードで使用するときの推奨呼出ベル回数
- 「4〜10回」: ファクス/電話自動切替モードで使用するときの推奨呼出ベル回数

2 機能案内 ◁ ▷ 音量/原稿濃度 で呼出ベル回数を選び、機能/確定 ◯ を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。



呼出ベル回数を「0回」に設定すると、ファクスのときは自動受信し、電話のときだけ着信音を鳴らすことができます。「無鳴動受信」(回線状況が悪い場合は、ファクスのときでも数回着信音が鳴ることがあります。)

3 停止 ◯ を押す

ファクスを受ける

手動でファクスを受信する［手動受信］

着信音が鳴っているときに電話を受け、ファクスを受信するときは、次の操作でファクスを受信します。

1 着信音が鳴ったら受話器をとる

2 相手と話をしたあと、または「ポーポー」という音が聞こえたときは、スタートを押す





補足

原稿がセットされているときは原稿を外してください。

3 受話器を戻す

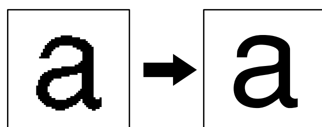


メモ

- 相手が自動送信でファクスを送信してきたときは、着信音（7～10回）が鳴っている間に、電話が切れることがあります。「呼出ベル回数」を6回以下に設定してください。（「呼出ベル回数を設定する」☞ 43ページ）
- 相手が手動送信でファクスを送信してきたときは、受話器をとっても、「ポーポー」という音がしないことがあります。相手がファクスを送るかどうかを口頭で確認し、スタートを押してください。

■ スムージング記録について

「標準」、「ファイン」モードで送信されてきた原稿の線やギザギザを補正し、滑らかな線や文字で見やすく受信する機能です。



相手が電話かファクスかを自動的に判断して受信する［自動受信］

着信音が鳴り終わったあと、自動的に相手が電話かファクスかを判断し、相手がファクスのときは自動的にファクスの受信を開始します。この機能は本機が自動的に行う機能です。



再呼び出し機能について

ファクス／電話自動切替モードのとき、着信音が鳴り終わったあと、本機が自動的に応答し、相手が電話のときは、再度別の着信音で呼び出します。（このとき相手には、**ここから料金がかかります**。）呼び出している間、相手には「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は“ピー”という音のあとに送信してください。」というメッセージが流れます。
設定されたベル音と異なるベル音「トゥルッ、トゥルッ」が15回鳴り、この間に電話に出ないと自動的に回線が切れます。



受話器で受けたファクスを自動的に受信する［親切受信］

本機または外付電話機（外付電話機接続時）の受話器で受けたときに相手がファクスだった場合、そのまま約7秒たつと自動的にファクスを受信します。ディスプレイには「ジュシン」と表示されます。
お買い上げ時は、親切受信は「ON」に設定されています。

1 機能/確定 2 2 を押す

親切受信の設定が表示されます。

シンセツ ジ゛ュシン：ON

親切受信の設定は「ON／OFF」から選びます。

2 ◁ ▷ で親切受信の設定を選び、機能/確定 を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。

3 停止 を押す



- 本機にファクスが送られてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると「ポーポー」という音が聞こえます。このとき親切受信を設定していない場合は、スタート を押さないとファクスを受信することはできません。
- 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しないときがあります。このようなときは スタート を押して手動でファクスを受信してください。
- 通話中、または外部からの音が入ったとき、突然ファクスに切り替わってしまう場合は、親切受信の設定を「OFF」にしてください。



外付電話端子にパソコンを接続する場合は、親切受信の設定を「OFF」にしてください。

ファクス送信後に相手と話をする［電話予約］

「電話予約」を設定すると、ファクス送信後に自動的に相手先の着信音を鳴らします。相手が電話に出ると本機の着信音が鳴り、受話器をとって通話をすることができます。
また、相手が電話に出なかったときに「ｵﾃﾞﾝﾜ ｸﾀﾞｻｲ」という伝言メッセージを送信することができます。
この機能は送信後に解除されます。
お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。



- 「伝言メッセージ」を設定するときは、事前に発信元登録をしてください。発信元登録をしていないときは、「伝言メッセージ」を設定することができません。
  （「発信元登録」☞21ページ）
- 相手のファクシミリに電話予約機能がないときは、ファクス送信後に相手と通話することはできません。
- 「タイマー送信」のときは、「電話予約」はできません。

1 原稿を裏向きにセットする

原稿に合わせて画質を調整することができます。（☞ 58ページ）

2 機能/確定 3 5 を押す

電話予約の設定が表示されます。

デ゛ンワ　ヨヤク：ＯＦＦ

電話予約の設定は「ON／OFF／プリント　サンプル」から選びます。
・「ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾔｸ：ON」：電話予約を設定するとき
・「ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾔｸ：OFF」：電話予約を設定しないとき
・「ﾌﾟﾘﾝﾄ ｻﾝﾌﾟﾙ」：伝言メッセージのサンプルを印刷するとき

3 ◁ ▷ で電話予約の設定を選び、機能/確定 を押す

4 ◁ ▷ で伝言メッセージの設定を選び、機能/確定 を押す

伝言メッセージの設定は「ON/OFF」から選びます。
・「ﾃﾞﾝｺﾞﾝﾒｯｾｰｼﾞ：ON」：伝言メッセージを付けるとき
・「ﾃﾞﾝｺﾞﾝﾒｯｾｰｼﾞ：OFF」：伝言メッセージを付けないとき
「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

ホカノ　セッテイ？ ⇄ 1．スル　2．シナイ
が表示されます。

5 2 を押す

他の送信設定をするときは 1 を押して、設定を続けます。

6 相手の電話番号を入力し、スタート を押す

ファクス送信を開始します。
送信終了後、自動的に相手の着信音を鳴らします。
相手が電話に出ると、自動的に本機の着信音を鳴らします。

7 本機の着信音が鳴ったら、受話器をとって通話する

補足
相手が電話に出られず、伝言メッセージを「ON」に設定しているときは、相手に「伝言メッセージ」を送信します。

03-06-29-9:30
=== ﾃﾞﾝｺﾞﾝﾒｯｾｰｼﾞ ===
TO: ﾀﾅｶ ﾖｳｺ ｻﾏ
FROM: ｽｽﾞｷ ｹｲｺ
ｵﾃﾞﾝﾜ ｸﾀﾞｻｲ ［TEL］052 824 △△55 ［FAX］052 811 5△△1

相手先の名前（電話帳に登録した名前）
発信元データ

送付書を付けて送信する［送付書送信］

ファクスを送信するとき、自動的に送付書を付けて送信することができます。お買い上げ時は「OFF（付けない）」に設定されています。

メモ
- 「送付書送信」を設定するときは、事前に発信元登録をしてください。発信元登録をしていないときは、「送付書送信」を設定することができません。
（「発信元登録」☞ 21ページ）
- 送付書には相手先名（電話帳を使って送信したときのみ）、こちらの名前／電話番号／ファクス番号／送付ページ数（「コンカイノミ：ON」に設定しているとき）／コメントが送信されます。

1 原稿を裏向きにセットする

原稿に合わせて画質を調整することができます。
（☞ 58ページ）

2 機能/確定 3 1 を押す

送付書送信の設定が表示されます。

ソウフショ：OFF

送付書の設定は「コンカイノミ／ON／OFF／プリント　サンプル」から選びます。
- 「コンカイノミ」：今回のみ、送付書を設定するとき ☞ 手順4へ
- 「ソウフショ：ON」：毎回、送付書を付けるとき ☞ 手順5へ
- 「ソウフショ：OFF」：送付書を付けないとき ☞ 手順7へ
- 「プ゚リント　サンプル」：送付書サンプルを印刷するとき スタート を押します

3 ◁ ▷ で送付書の設定を選び、機能/確定 を押す

4 ◁ ▷ で設定を選び、機能/確定 を押す

設定は「コンカイノミ：ON／コンカイノミ：OFF」から選びます。
- 「コンカイノミ：ON」：今回のみ、送付書を付けるとき
- 「コンカイノミ：OFF」：今回のみ、送付書を付けないとき ☞ 手順7へ

5 ◁ ▷ でコメントを選び、機能/確定 を押す（または 1 〜 6 を押す）

コメントは「1.コメント　ナシ／2.オデンワ　クダサイ／3.シキュウ／4.シンテン／5.（オリジナルコメント）／6.（オリジナルコメント）」から選びます。

補足
コメントの「5.」、「6.」にオリジナルのコメントを 2 種類登録することができます。（☞ 48ページ）

6 0 〜 9 で送信枚数を押し、機能/確定 を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。

ホカノ　セッテイ？ ⇄ 1．スル　2．シナイ

が表示されます。

補足
送信枚数は2桁で入力します。

7 2 を押す

他の送信設定をするときは 1 を押して、設定を続けます。

8 相手の電話番号を入力し、スタート を押す

ファクスの送信が開始されます。

ファクスの便利な送りかた

■ 送付書のコメントを登録する［送付書コメント］

送付書に付けるコメントを２種類（オリジナルコメント）登録することができます。

1 機能/確定 3 2 を押す

送付書のコメントを設定する表示になります。

2 ◁ ▷ でオリジナルのコメントの登録先（「5.」または「6.」）を選び、機能/確定 を押す

3 オリジナルのコメントを入力し、機能/確定 を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。
「文字の入れかた」（☞ 22ページ）

ホカノ　セッテイ？	⇄	1．スル　2．シナイ

が表示されます。

補足

オリジナルのコメントは27文字まで入力できます。

4 2 を押す

設定を終了します。
他の設定をするときは 1 を押して、設定を続けます。

原稱をセットする ▶ 機能/確定 3 1 を押す　送付書送信の設定が表示される。

◁ ▷ を押す（機能案内 / 音量/原稿濃度）

送付書の設定をする。
「ｿｳﾌｼｮ:ON」　：毎回、送付書を付ける
「ｺﾝｶｲﾉﾐ」　：今回の送付書を設定する
「ｿｳﾌｼｮ:OFF」　：送付書を付けない
「ﾌﾟﾘﾝﾄ ｻﾝﾌﾟﾙ」：送付書サンプルを印刷する

ｿｳﾌｼｮ:ON
- 機能/確定 を押す
- ◁ ▷ で選び 機能/確定 を押す（1 ～ 6 を押す）
- 機能/確定 を押す

ｺﾝｶｲﾉﾐ
- 機能/確定 を押す
- ◁ ▷ を押す

今回の設定をする。
「ｺﾝｶｲﾉﾐ:ON」：今回のみ､送付書を付ける
「ｺﾝｶｲﾉﾐ:OFF」：今回のみ､送付書を付けない

ｺﾝｶｲﾉﾐ:ON
- 機能/確定 を押す
- ◁ ▷ で選び 機能/確定 を押す（1 ～ 6 を押す）

コメントを選択する。
1：コメント　ナシ
2：オデンワ　クダサイ
3：シキュウ
4：シンテン
5：（オリジナルコメント）
6：（オリジナルコメント）

- 0 ～ 9 を押す

送信枚数の設定をする。
（2桁で入力する）

- 機能/確定 を押す

ｺﾝｶｲﾉﾐ:OFF
- 機能/確定 を押す

ｿｳﾌｼｮ:OFF
- 機能/確定 を押す

ﾌﾟﾘﾝﾄ ｻﾝﾌﾟﾙ
- 機能/確定 を押す
- スタート を押す
- 「送付書サンプル」が印刷される

=== ｿｳﾌｼｮ ===
TO: ＿＿＿＿＿ ｻﾏ
FROM: ＿＿＿＿＿
FAX:
TEL:
ﾍﾟｰｼﾞ ｵｸﾘﾏｽ
ｺﾒﾝﾄ:

※相手先の名前はワンタッチダイヤルか短縮ダイヤルに登録されているときのみ、印字されます。
※送信枚数は「ｺﾝｶｲﾉﾐ:ON」を選択したときにのみ、印字されます。

機能/確定 を押す

他の設定をしない
- 2 を押す
- 相手の電話番号を入力する（☞ 36 ページ）
- スタート を押す
- ファクスの送信が開始される

他の設定をする
- 1 を押す
- 他の設定をする

第1章 最初にお読みください
第2章 電話
第3章 ファクス
第4章 コピー
第5章 活用する
第6章 困ったときは
付録



ファクスの便利な送りかた

指定した時刻に送信する［タイマー送信］

指定した時刻に自動的に原稿を送信することができます。（時刻指定は24時間以内です。）この機能は送信後に解除されます。

1 原稿を裏向きにセットする

原稿に合わせて画質を調整することができます。
（☞ 58ページ）

2 [機能/確定] [3] [6] を押す

タイマー送信の設定が表示されます。

```
シテイ ジ゛コク=00:00
```

3 [0]～[9] で送信時刻を入力し、[機能/確定] を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。

`ホカノ セッテイ？` ⇄ `1.スル 2.シナイ`
が表示されます。

4 [2] を押す

他の送信設定をするときは [1] を押して、設定を続けます。

5 相手のファクス番号を入力し、[スタート] を押す

タイマー送信待機中になります。

```
タイマー ソウシン タイキチュウ
```


補足

- 送信時刻になると自動的に送信します。
- 相手が通話中などの理由で送信できなかったときは、５分おきに３回まで「再ダイヤル」を行い、「サイダ゛イヤル タイキチュウ」と表示されます。（再ダイヤルを中止するには [停止] を押します。）

6 送信終了後、「送信レポート」が印刷される

「送信レポート」（☞ 59ページ）



「タイマー ソウシン タイキチュウ」と表示されているときは、セットしてある原稿を取らないでください。（タイマー送信がセットされています。）原稿を取り除くと、約1分後にタイマー送信が解除されます。

■ タイマー送信待機中に電話をかけるには

そのまま電話できます。セットしてある原稿を取らずに電話をかけてください。

■ タイマー送信待機中に別の原稿を送信するには

タイマー送信を解除し、別の原稿をセットし送信してください。
（「タイマー送信設定を確認・解除する」☞ 51ページ）

■ タイマー送信待機中に電話がかかってきたり、ファクスを受信したときは

そのまま電話に出てください。自動送信で送られてきたファクスは自動的に受信します。

■ タイマー送信を解除するには

（「タイマー送信設定を確認・解除する」☞ 51ページ）

■ タイマー送信レポートの印刷例

タイマー ツウシン レポート　　ジ゛コク ： 03-01-15-15:25

ニチジ゛	01-15 15:24
アイテサキ メイショウ	タナカ ヨウコ
ツウシン ジ゛カン	00:00:53
ペ゛ージ゛	01
	ソウフショ
ケッカ	OK
ガ゛シツ	ヒョウジ゛ュン

タイマー送信設定を確認・解除する

タイマー送信を解除することができます。

1 機能/確定 4 を押す

設定した送信時刻と相手のファクス番号が表示されます。


補足

タイマー送信の設定がないときは「セッテイガ　サレテイマセン」と表示されます。

19:33　　0355△△11	⇄	カイジョ　1.スル　2.シナイ

が表示されます。

2 1 を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。

3 停止 を押す

海外へ送信する［海外送信モード］

海外送信時に設定すると、通信エラーを少なくすることができます。（海外への送信では、回線の状況などによって正常に通信できないことがあります。）
この機能は送信後に解除されます。
お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

1 原稿を裏向きにセットする

原稿に合わせて画質を調整することができます。（☞ 58ページ）

2 機能/確定 3 4 を押す

海外送信モードの設定が表示されます。

カイガイソウシン:OFF

海外送信モードの設定は「ON／OFF」から選びます。

3 ◁ ▷ で海外送信モードの設定を選び、機能/確定 を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。

ホカノ　セッテイ?	⇄	1.スル　2.シナイ

が表示されます。

4 2 を押す

他の送信設定をするときは 1 を押して、設定を続けます。

5 相手のファクス番号を入力し、スタート を押す

ファクス送信を開始します。
「国・地域番号リスト」（☞ 76ページ）

ファクスの便利な受けかた

外部からの操作でファクスを受信する［リモート受信］

外部の操作で本機のファクス受信をスタートさせるための番号を設定します。お買い上げ時のリモート受信は「OFF」、リモート受信番号は「＃ 51」に設定されています。

1 機能/確定 2 3 を押す

リモート受信の設定が表示されます。

```
リモート ジ゛ュシン：OFF
```

リモート受信の設定は「ON／OFF」から選びます。

2 ◁ ▷ でリモート受信の設定を選び、機能/確定 を押す

リモート受信番号の設定が表示されます。

```
リモート バ゛ンゴ゛ウ：＃51
```

3 0 〜 9 、＃、＊ を使った３桁の番号でリモート受信番号を入力し、機能/確定 を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。

4 停止 を押す

補足

リモート受信番号は一度設定すると、変更するまで変わりません。

■ 外付電話機でファクスを受信するには

本機の外付電話端子に留守番電話機が接続されているとき、外付電話機で電話を受けることができます。このとき相手がファクスだった場合、「リモート受信番号」を入力することで、本機のファクス受信を開始させることができます。

1 外付電話機で電話を受けたとき、「ポーポー」という音が聞こえる

2 外付電話機の 0 〜 9 、＃、＊ を使った3桁の番号でリモート受信番号を入力し、約5秒たったら受話器を戻す

本機がファクス受信を始めます。

メモ

- リモート受信は受信モードが「外付留守番電話モード」のときは使用できません。
- リモート受信はトーン信号の出力可能な電話機で利用できます。

本機の操作で相手の原稿を受ける［ポーリング受信］

本機の操作で、相手側のファクシミリにセットした原稿を自動的に受信します。



相手側のファクシミリにポーリング機能がないときには利用できないことがあります。

1 機能/確定 2 4 を押す

2 相手のファクス番号を入力し、スタート を押す

「ウケツケマシタ」と表示されたあと、ファクスを受信します。

ファクス情報サービスを利用する

本機では、各種のファクス情報サービスを利用することができます。ファクス情報サービスの受信のしかたには「ガイダンス方式（音声ガイダンスが聞こえる）」と「ポーリング方式（「ピー」と音が聞こえる）」があります。各種サービスに合わせて操作を行ってください。（以下の手順は一般的な操作例です。）

1 受話器をとる（または オンフック を押す）

2 情報サービスセンターに電話をかける

「ピー」という音が聞こえるときは ☞ 手順4へ

3 ガイダンスに合わせて、0 〜 9 を押す

ダイヤル回線をお使いのときは、＊ を押してから 0 〜 9 を押します。
よく利用する情報サービスがあるときには、情報番号をワンタッチダイヤルに登録しておくと便利です。（あらかじめ登録しておいたワンタッチダイヤルボタンを押すと、簡単に情報サービスを利用することができます。）

4 スタート を押す

自動的に受信を開始します。
受話器をあげているときは受話器を戻します。



ダイヤル回線をお使いの場合で、ワンタッチダイヤルにファクス情報サービスの情報番号や暗証番号を登録するときは、登録する番号の最初に ＊ を入力してください。

memo

第４章

コピー



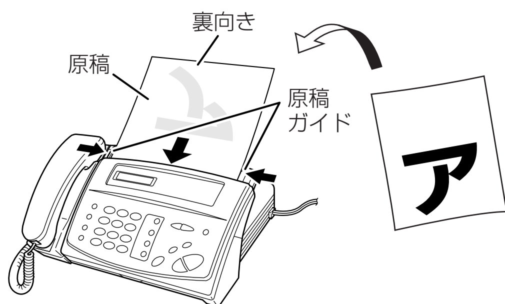
コピーする

コピーするときは、次の手順で原稿をセットします。原稿のサイズや読み取り範囲については78ページを参照してください。

❶ 原稿を裏向きにセットする

原稿が正しくセットされると下記のメッセージが表示されます。

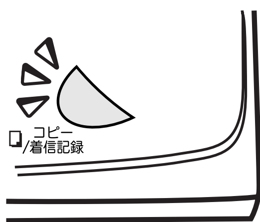
ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	⇄	ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ



補足

- 一度に10枚までの原稿をセットでき、コピーすることができます。
- コピーするときは受話器を置いたままで操作してください。
- 原稿が静電気でくっついていないか確認します。
- 原稿の先端をそろえ、原稿ガイドにそって先が軽く当たるまで差し込みます。
- 一時的に濃度を変えてコピーすることができます。（「濃度の調整」☞ 58ページ）
- 原稿に合わせて画質を調整することができます。（☞ 58ページ）

❷ コピー/着信記録を押す



■ セットした原稿を取り出すには

・コピー開始前：そのまま原稿を上方向に取り除いてください。

・コピー中　　：停止を押すと、コピーが中断されます。送り込まれていない原稿は、上方向に取り除いてください。
「ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されたら、再度停止を押してください。すでに送り込まれている原稿が排出されます。

■ コピーを中止するには

停止を押します。コピーが中断されたら、送り込まれていない原稿は、上方向に取り除いてください。
「ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されたら、再度停止を押してください。すでに送り込まれている原稿が排出されます。



- ナンバー・ディスプレイ「アリ」設定時は、着信音は鳴りません。（「ナンバー・ディスプレイを設定する」☞ 62ページ）
- コピー中は送信および受信に関わる動作はできません。また、通信中はコピーできません。



- 原稿を複数枚セットするときは、キャリアシートはお使いになれません。
- キャリアシートは古くなったら新しいものとお取り替えください。
- インクやのりなどが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
- 原稿のクリップ･ホチキスの針は故障の原因となりますので取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
- 原稿の先端に色が付いていると、濃い原稿と判断する場合があります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。
- 原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。

第 5 章

活用する

原稿に合わせて調整する

濃度の調整

ファクス送信時、コピー時の濃度を設定します。
お買い上げ時は、「フツウ」に設定されています。

1 機能/確定 サDEF 3 サDEF 3 を押す

濃度の設定が表示されます。

ゲ゛ンコウ　ノウド゛：フツウ

原稿濃度は「フツウ／コク／ウスク」から選びます。

2 機能案内 ◁ ▷ 音量/原稿濃度 で濃度を選び、機能/確定 を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。

ホカノ　セッテイ？ ⇄ 1. スル　2. シナイ
が表示されます。

3 カABC 2 を押す

設定を終了します。
他の設定をするときは ア 1 を押して、設定を続けます。

原稿に合わせて濃度を調整

原稿の濃さによって読み取る濃度を設定します。

1 原稿を裏向きにセットする

2 機能案内 ◁ ▷ 音量/原稿濃度 を押し、濃度を選ぶ

ウスク██　　　　コク

濃度は3段階の調整ができます。

1段階	ウスク██　　　　コク
2段階	ウスク████　　コク
3段階	ウスク██████コク

メモ
- 原稿がセットされていないときに 機能案内 ◁ ▷ 音量/原稿濃度 を押すと、着信音量の設定になり、濃度変更の設定はできません。
- ファクス送信またはコピー終了後はもとの設定に戻ります。

原稿に合わせて画質を調整

原稿の文字の大きさや種類によって読み取る画質を設定します。お買い上げ時は、「ヒョウシ゛ュンモート゛」に設定されています。

1 原稿を裏向きにセットする

2 受信モード/画質 を押し、画質モードを選ぶ

受信モード/画質 を押すごとに切り替わります。
- 「ヒョウシ゛ュンモート゛」：大きくはっきりと見える文字
- 「ファインモート゛」：雑誌のように小さい文字
- 「S. ファインモート゛」：新聞のように細かい文字
- 「シャシンモート゛」：写真やカラーの原稿

メモ
- 原稿がセットされていないときに 受信モード/画質 を押すと、受信モードの設定になり、画質の設定はできません。
- ファクス送信後はもとの設定に戻ります。
- コピー時は、「ヒョウジュンモード」または「ファインモード」に設定している場合、「S.ファインモード」で読み取ります。

レポートやリストを印刷するには

送信レポート

ファクス送信後に送信レポートを印刷することができます。お買い上げ時は、「エラーノミ」に設定されています。

1 機能/確定 6 1 を押す

送信レポートの設定が表示されます。

ソウシン　レポ゜ート：エラーノミ

送信レポートの設定は「ON／エラーノミ／OFF」から選びます。
- ・「ON」　：常に結果レポートを印刷します
- ・「エラーノミ」：送信エラーがあるときだけ結果レポートを印刷します
- ・「OFF」　：結果レポートを印刷しません

2 ◁ ▷ で送信レポートの設定を選び、機能/確定 を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。

3 停止 を押す

通信管理レポート

最新の送信・受信結果（合計15通信分）を印刷することができます。この通信管理レポートはお好みの間隔で自動的に印刷することができます。また、必要なときにはすぐ印刷することもできます。

1 機能/確定 6 2 を押す

通信管理レポートの設定が表示されます。

フ゜リント　リスト

2 ◁ ▷ で「シュツリョク カンカク」を選び、機能/確定 を押す

補足
すぐに印刷するときは、「プリント リスト」を選び、機能/確定 スタート を押します。

3 ◁ ▷ で出力間隔を選び、機能/確定 を押す

出力間隔は「6／12／24 ジカンゴト、2／7 カ ゴト／15 ケン ゴト／レポート シュツリョク シナイ」から選びます。

補足
- ●「15 ケン ゴト」を設定すると、蓄積された15件分の通信結果が印刷されます。
- ●「レポート シュツリョク シナイ」を設定すると、通信管理レポートは印刷されません。

4 「7 カ ゴト」を選択したときは、◁ ▷ で曜日を選び、機能/確定 を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。

5 ◁ ▷ で開始時間を入力し、機能/確定 を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。
開始時間は、24時間制で入力します。

6 停止 を押す

レポートやリストを印刷するには

ダイヤルリスト

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録された内容を印刷することができます。

1 機能/確定 6 3 を押す

ダイヤルリストを印刷する表示になります。

スタートヲ　オシテクダ゛サイ

2 スタート を押す

印刷が開始されます。

3 印刷終了後、停止 を押す

電話帳リスト

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録された内容を50音順に印刷することができます。

1 機能/確定 6 4 を押す

電話帳リストを印刷する表示になります。

スタートヲ　オシテクダ゛サイ

2 スタート を押す

印刷が開始されます。

3 印刷終了後、停止 を押す

メモ

相手先名称が登録されていない電話番号は、「アイテサキメイショウ」が空欄になり、リストの最後に印字されます。

設定内容リスト

各種機能に登録・設定された内容を印刷することができます。

1 機能/確定 6 5 を押す

設定内容リストを印刷する表示になります。

スタートヲ　オシテクダ゛サイ

2 スタート を押す

印刷が開始されます。

3 印刷終了後、停止 を押す

機能案内リスト

本機の機能の使いかたや文字入力表を印刷することができます。

1 機能案内 ◁ ▷ を同時に押す

「機能案内リスト」が印刷されます。

ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイとは

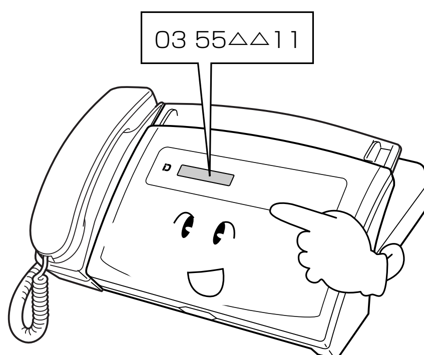
ナンバー・ディスプレイは、NTTが行っているサービスの1つで、電話がかかってきたときに相手の電話番号をディスプレイに表示します。サービスの詳細についてはNTT（116：無料）にお問い合わせください。



- 本機の設定だけでは、ナンバー・ディスプレイは利用できません。**NTTとの契約が必要です。（有料）**
- ISDN回線を利用するときは、ターミナルアダプタのデータ設定が必要です。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

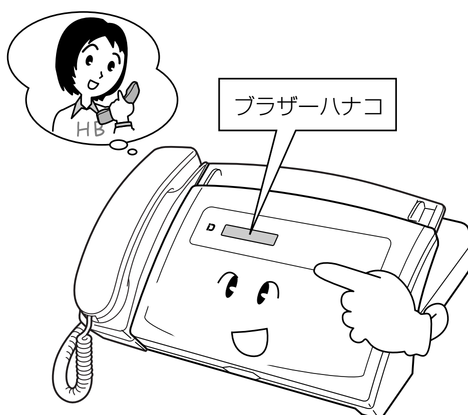
■ 電話番号表示機能

電話がかかってくると、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。



■ 名前表示機能

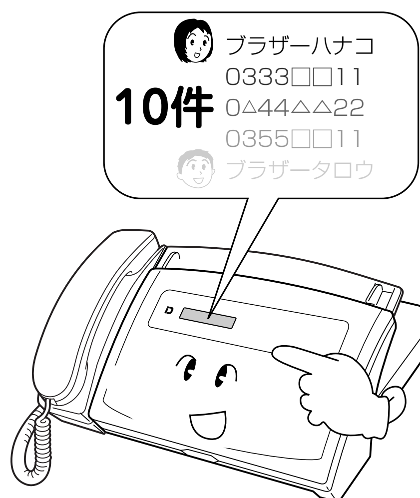
ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録した相手から電話がかかってくると、相手の名前がディスプレイに表示されます。



■ 着信記録機能

電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。（着信記録は、10件まで記録できます。11件以上になると古い順に削除されます。）記録した電話番号は次のように活用できます。

- ディスプレイに表示する
- 「着信記録」として印刷する
- ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録する
- 記録した電話番号に電話をかける



ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイを設定する

NTTとのご契約後、ナンバー・ディスプレイを利用するときは「アリ」に、利用しないとき、または利用を一時的に中止するときは「ナシ」に設定します。
お買い上げ時は、ナンバー・ディスプレイ「アリ」に設定されています。



- ナンバー･ディスプレイをご利用いただくためには、**NTTとの契約が必要です。（有料）**
- ISDN回線を利用されているときは、ナンバー･ディスプレイ対応のターミナルアダプタが必要になります。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、ナンバー・ディスプレイを利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー･ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器などが接続されている場合、誤動作することがあります。



機能/確定 7 1 を押す

ナンバー・ディスプレイの設定が表示されます。

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ:ｱﾘ

ナンバー･ディスプレイの設定は､｢アリ／ナシ｣から選びます。



◁ ▷ でナンバー・ディスプレイの設定を選び、機能/確定 を押す

｢ｳｹﾂｹﾏｼﾀ｣と表示されます。



停止 を押す



「186」または「184」などを付けてワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録するときは、同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。
市外局番を付けずに登録すると、着信時に相手の名前がディスプレイに表示されません。

例）○　186 XXX XXX XXXX
（市外局番）（市内局番）（相手先番号）
×　186 XXX XXXX
（市内局番）（相手先番号）

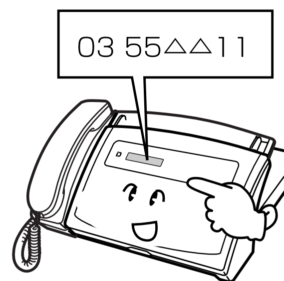
■ 電話がかかってくると…

電話がかかってくると、相手の電話番号が表示されます。
ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録した相手から電話がかかってきたときは、相手の名前が表示されます。



着信音が鳴り、相手の名前や電話番号が表示される

ｽｽﾞｷ ｹｲｺ　：名前が登録してあるとき
0355△△11　：名前が登録していないとき





受話器をとる（☞ 31ページ）

電話がつながります。

■ その他の表示について

- ｢ﾋﾂｳﾁ｣　：相手が電話番号非通知契約のとき、電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき
- ｢ｺｳｼｭｳﾃﾞﾝﾜ｣　：公衆電話からかけてきたとき
- ｢ﾋｮｳｼﾞｹﾝｶﾞｲ｣　：相手がサービス対象地域外から電話をかけてきたとき、サービス未実施の携帯電話やPHSからかけてきたとき
- ｢161｣(Fﾈｯﾄ)　：Fネットでファクスを受信したとき

着信記録を利用する

着信記録からワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに電話番号を登録したり、着信記録を印刷することができます。着信記録は10件まで記録できます。11件以上になると、古い順に削除されます。操作を中止するには停止を押します。



- ナンバー･ディスプレイの契約をしていないときは、「着信記録」は使えません。(「チャクシンキロクガ　アリマセン」と表示されます。)
- 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

■ 着信記録を確認する

1 コピー/着信記録を押す

「チャクシン　キロク」と表示され、約2秒後に下記のメッセージが表示されます。

スタートヲ　オシテクダ゛サイ	⇄	ヤシ゛ルシホ゛タンテ゛　センタク

機能案内/音量/原稿濃度を押すと、着信記録が表示されます。

補足

着信記録がないときは、拒否音が鳴り、「チャクシンキロクガ　アリマセン」と約2秒間表示されます。

2 確認したい着信記録を選び、機能/確定を押す

名前、電話番号、日時が順に約2秒ずつ表示されます。

3 停止を押す

■ 着信記録で電話をかける

1 コピー/着信記録を押す

「チャクシン　キロク」と表示され、約2秒後に下記のメッセージが表示されます。

スタートヲ　オシテクダ゛サイ	⇄	ヤシ゛ルシホ゛タンテ゛　センタク

機能案内/音量/原稿濃度を押すと、着信記録が表示されます。

補足

着信記録がないときは、拒否音が鳴り、「チャクシンキロクガ　アリマセン」と約2秒間表示されます。

2 着信記録を選び、機能/確定を押す

名前、電話番号、日時が順に約2秒ずつ表示されます。

3 受話器をとって、スタートを押す

電話がかかります。

補足

ファクスを送信するときは、原稿をセットし、スタートを押します。

ナンバー・ディスプレイを利用する

■ 着信記録をワンタッチダイヤルに登録する

1 コピー/着信記録 を押す

「チャクシン　キロク」と表示され、約2秒後に下記のメッセージが表示されます。

スタートヲ　オシテクダ゛サイ	⇄	ヤシ゛ルシホ゛タンテ゛　センタク

機能案内 ◁ ▷ 音量/原稿濃度 を押すと、着信記録が表示されます。

2 ワンタッチダイヤルに登録する電話番号を選び、1 ◯～4 ◯を押す

名前を入力する表示になります。

ナマエ：_

補足

すでに登録されている電話番号のときは、「トウロク　サレテ　イマス」と表示されます。

3 相手の名前を入力し、機能/確定 を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。

4 停止 を押す

■ 着信記録を短縮ダイヤルに登録する

1 コピー/着信記録 を押す

「チャクシン　キロク」と表示され、約2秒後に下記のメッセージが表示されます。

スタートヲ　オシテクダ゛サイ	⇄	ヤシ゛ルシホ゛タンテ゛　センタク

機能案内 ◁ ▷ 音量/原稿濃度 を押すと、着信記録が表示されます。

2 短縮ダイヤルに登録する電話番号を選び、キャッチ/短縮 を押す

短縮番号を入力する表示になります。

タンシュク　ダ゛イヤル？　＊

補足

すでに登録されている電話番号のときは、「トウロク　サレテ　イマス」と表示されます。

3 短縮番号（01～80）を入力し、機能/確定 を押す

4 相手の名前を入力し、機能/確定 を押す

「ウケツケマシタ」と表示されます。

5 停止 を押す

■ 着信記録を印刷する

1 コピー/着信記録 を押す

「チャクシン　キロク」と表示され、約2秒後に下記のメッセージが表示されます。

スタートヲ　オシテクダ゛サイ	⇄	ヤシ゛ルシホ゛タンテ゛　センタク

2 スタート を押す

着信記録が印刷されます。

チャクシン キロク

ジ゛コク ： 03-01-15-15 15:25

	ヒヅ゛ケ	ジ゛コク	ナンバ゛ー・デ゛ィスプ゜レイ	アイテサキ メイショウ	コメント
01	03/01	11:10	052824△△△△	スズ゛キケイコ	RX
02	03/01	11:12	052△△△2554	ヒグ゛チマミ	
03	03/05	13:30	052824△△56	ミズ゛タニミキオ	RX
04	03/07	08:00	03547△△△86	コジ゛ママユカ	
05	03/10	03:11	ヒツウチ		RX
06	03/11	20:11	0528242△△△	カイシャノジ゛ョウシ	
07	03/11	21:11	03△△△△1234	イヤナヤツ	
08	03/12	09:32	03△△△△1234	イヤナヤツ	
09	03/14	13:10	03△△△△1234	イヤナヤツ	
10	03/15	14:20	コウシュウデ゛ンワ		TEL

RX：ファクス受信した。
TEL：電話に出て話をした。
RX TEL：電話に出たあとでファクスを手動受信した。
TX TEL：電話に出たあとでファクスを手動送信した。
コメント欄が空欄：電話に出ていない。

キャッチホンを利用する

キャッチホン／キャッチホンⅡは、NTTが行っているサービスの1つで外線通話中に別の電話やファクスを受けるためのサービスです。サービスの詳細についてはNTT（116：無料）にお問い合わせください。



- キャッチホン／キャッチホンⅡをご利用いただくためには、**NTTとの契約が必要です。（有料）**
- ISDN回線を利用されているときは、ターミナルアダプタのデータ設定が必要です。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、キャッチホンが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンを受けると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像の乱れが気になる場合はキャッチホンⅡのご利用をおすすめします。

■ キャッチホンで電話を受けた場合

1 通話中に「プッブッ」と聞こえたら キャッチ/短縮 を押す

相手の声が聞こえます。
待たせている相手の方には保留音が流れます。

2 新しくかかってきた相手と通話する

キャッチ/短縮 を押すごとに、通話の相手が変わります。

3 新しくかかってきた相手との通話を終えるときは、キャッチ/短縮 を押す

最初の相手に戻ります。

■ キャッチホンでファクスを受けた場合

1 通話中に「プッブッ」と聞こえたら キャッチ/短縮 を押す

「ポーポー」という音が聞こえます。
待たせている相手の方には保留音が流れます。

2 再度 キャッチ/短縮 を押し、最初の相手に戻る

最初の相手につながります。

3 手短に通話を終えて キャッチ/短縮 を押す

キャッチの相手（ファクス）につながります。

補足
- ファクスを受ける場合は、最初の相手に戻ってから、なるべく手短に話を終えてください。会話が長くなるとファクスが受信できなくなることがあります。
- ファクスを受信できなくなるため、受話器を戻さないでください。

4 スタート を押す

補足
親切受信を「ON」に設定していると、キャッチ/短縮 を押して「ポーポー」と聞こえたとき、自動的にファクスを受信することがあります。（このときは、受信し終わるまで受話器を戻さないでください。）自動的にファクスを受信したくないときは親切受信を「OFF」にしてください。（「親切受信」☞ 45ページ）



- キャッチホンを受けなかったときは、相手が電話を切ったあともしばらくキャッチホンの着信音が鳴り続けることがあります。
- キャッチホンのとき以外に、通話中に キャッチ/短縮 を押すと、通話が切れることがあります。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像の乱れが気になるようでしたら、キャッチホンⅡのご利用をおすすめします。
- キャッチホンでファクス受信すると、ファクスを何枚も受信し時間がかかる場合がありますので、通話を終えてからファクス受信することをおすすめします。

その他のサービスを利用する

キャッチホン・ディスプレイを利用する

キャッチホン･ディスプレイは､NTTが行っているサービスの1つで､外線通話中にかかってきた相手先の電話番号をディスプレイに表示させるサービスです。
サービスの詳細についてはNTT（116：無料）にお問い合わせください。
お買い上げ時は、キャッチホン・ディスプレイ「ナシ」に設定されています。



- 本機の設定だけでは､相手の電話番号は表示されません。キャッチホン･ディスプレイをご利用いただくためには、キャッチホン／キャッチホンⅡ（☞65ページ）とナンバー･ディスプレイ（☞61ページ）を契約した上で、**別途NTTとの契約が必要です。（有料）**
- ISDN回線を利用されているときは、ターミナルアダプタのデータ設定が必要です。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは､キャッチホン･ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

1 

を押す

キャッチホン･ディスプレイの設定が表示されます。

```
キャッチデ゛ィスプ゜レイ：ナシ
```

キャッチホン･ディスプレイの設定は､「アリ／ナシ」から選びます。

2 

「ウケツケマシタ」と表示されます。

3 

トーン信号によるサービスを利用する

本機では、トーン（プッシュ）信号による各種サービス（銀行ANSWER、クレジット通話サービス、ポケットサービス、照会案内サービス案内、ホームテレホンサービスにおけるテレコントロール、留守番電話におけるリモート操作など）を利用することができます。
具体的なサービスの詳細については各種サービスの提供先にお問い合わせください。

■ プッシュ回線の場合

1 受話器をとり、各種サービスの電話番号をダイヤルする

2 サービスの指示にしたがって 0 ～ 9、＊、# を押す

■ ダイヤル回線の場合

1 受話器をとり、各種サービスの電話番号をダイヤルする

2 ＊ を押す

3 サービスの指示にしたがって 0 ～ 9、＊、# を押す

電話を切るとダイヤル回線に戻ります。

第６章

困ったときは

お手入れのしかた

本機を清掃する

本体は乾いた布で軽く拭いてください。



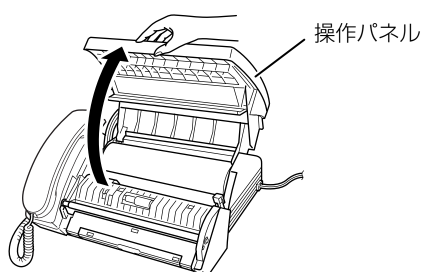


本体を拭くときはベンジン・シンナーなどの有機溶剤、水、アルコールは絶対に使用しないでください。また、布にアルコールを浸して拭くのもおやめください。操作パネルにひびがはいるおそれがあります。

原稿読取部を清掃する

読取部が汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめに読取部を清掃してください。

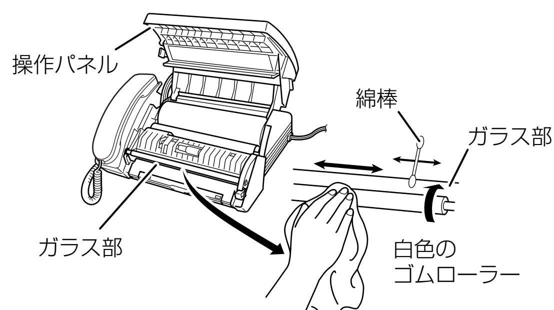
1 操作パネルを開く





操作パネル前側中央部に指をかけ、「**カチッ**」と音がするところまで持ち上げます。

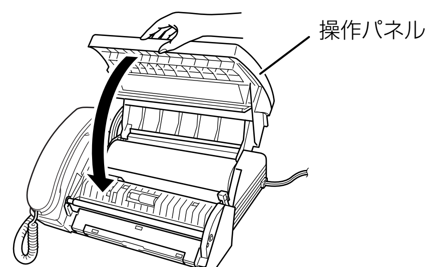
2 白色のゴムローラーはアルコールを浸したやわらかい布で拭く、ガラス部はアルコールを浸した綿棒などで拭く





無水エタノール、OAクリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD用レンズクリーナーなどをご利用いただけます。

3 操作パネルを閉じる





- 操作パネル前側中央部を押さえながら、しっかり閉じます。
- 操作パネルを閉じたあと、自動的に記録紙が送り出されカットされます。（オートカット機能）

紙がつまったら

原稿や記録紙がつまったときはブザーが鳴り、下記のメッセージが表示されます。

- 原稿がつまったとき

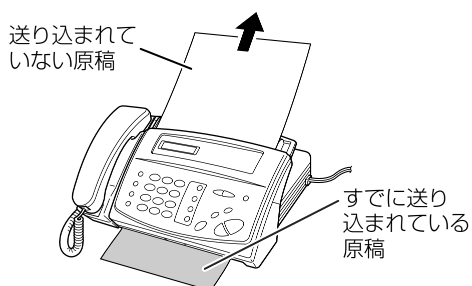
ｹﾞﾝｺｳ ｶｸﾆﾝ	⇄	ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

- 記録紙がつまったとき、またはカッターに記録紙がつまったとき

ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ	⇄	ｷﾛｸｼｦ ﾄｯﾃｸﾀﾞｻｲ
ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ	⇄	ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ

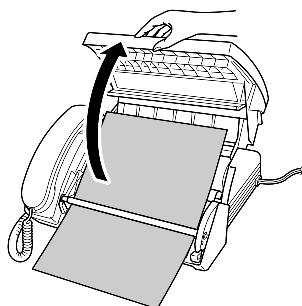
原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る



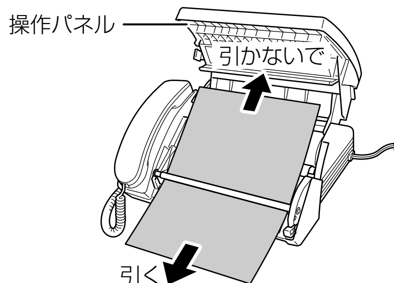
補足
すでに送り込まれている原稿は、以降の手順で取り除いてください。（無理に抜き取らないでください。）

2 操作パネルを開く

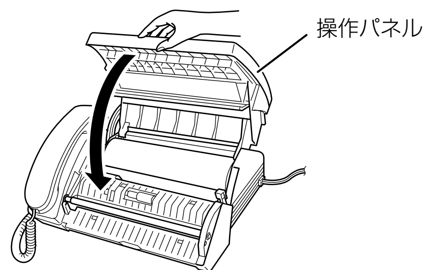


補足
操作パネル前側中央部に指をかけ、「**カチッ**」と音がするところまで持ち上げます。

3 つまった原稿を手前に引いて取り除く



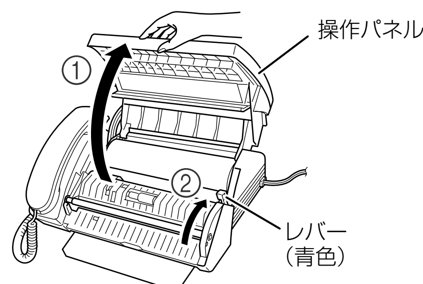
4 操作パネルを閉じる



補足
- 操作パネル前側中央部を押さえながら、しっかり閉じます。
- 操作パネルを閉じたあと、自動的に記録紙が送り出されカットされます。（オートカット機能）

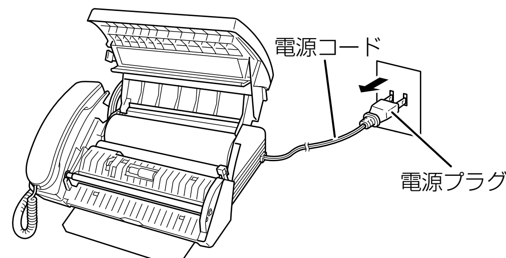
記録紙がつまったときは

1 操作パネルを開き、青色のレバーを押し上げる



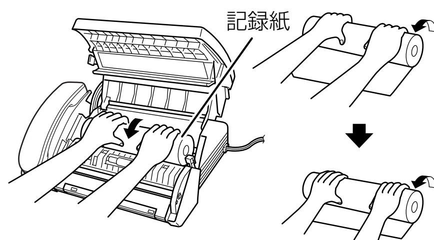
補足
操作パネル前側中央部に指をかけ、「**カチッ**」と音がするところまで持ち上げます。

2 電源コードのプラグを抜く



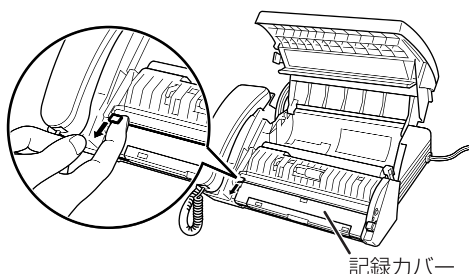
紙がつまったら

❸ 記録紙を手前に巻き取りながら引き抜く

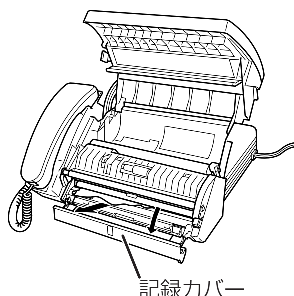


補足
記録紙が破れて本機の中に残らないように、ゆっくり巻き取って取り除いてください。

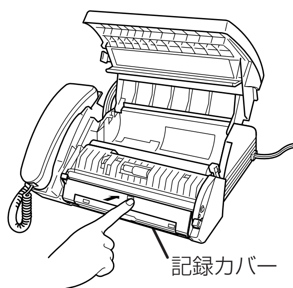
❹ つまみを手前に引いて、記録カバーを開ける



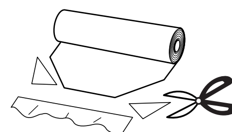
❺ 紙片等が残っていないか確認し、あれば取り除く



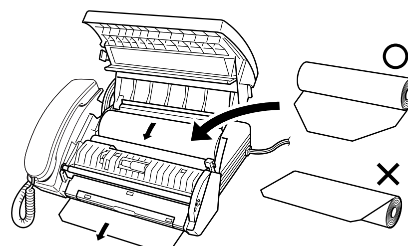
❻ 記録カバーの中心部を押して、記録カバーを閉じる



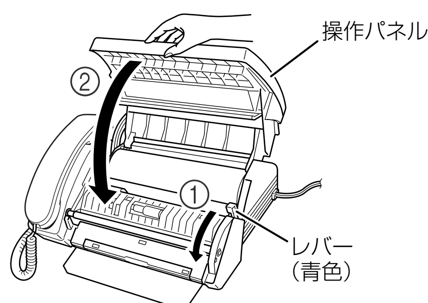
❼ 記録紙のしわになった部分をはさみで切り、先端をまっすぐにする



❽ 記録紙をセットする



❾ 青色のレバーを戻し、操作パネルを閉じる



補足
操作パネル前側中央部を押さえながら、しっかり閉じます。

❿ 電源コードのプラグを差し込む

メモ
「ｶｯﾀｰ　ﾂﾏﾘ」と表示されたときは、カッターが邪魔をして記録紙が正しくセットされません。再度操作パネルを開き、手順に従って記録紙をセットし直してください。

補足
記録紙をセットし操作パネルを閉じたあと、電源コードのプラグを差し込むと、自動的に記録紙が送り出されカットされます。（オートカット機能）

お願い
記録紙／原稿が本体前方より排出されますので水平な所に設置する場合、本機の前を約30cm以上あけてください。

エラーメッセージが表示されたら

本機や電話回線に異常があるときは、下記のようなエラーメッセージがディスプレイに表示されます。

ディスプレイ表示	原因	処置
アイテサキ　カクニン	通信中に相手機から回線が遮断された。	相手先に電話して原因を解除してもらい、再度送信してください。
カバ゛ーガ゛　アイテイマス ↑↓ カバ゛ーヲ　シメテクダ゛サイ	操作パネルが完全に閉まっていない。	操作パネルを再度、閉め直してください。
キロクシ　カクニン ↑↓ キロクシヲ　トッテクダ゛サイ キロクシ　カクニン ↑↓ カバ゛ーヲ　アケテクダ゛サイ	カッターに記録紙がつまっている。	つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。 (☞ 69ページ)
キロクシ　カクニン ↑↓ キロクシ　セットシテクダ゛サイ	記録紙がなくなった。	記録紙を補給し スタート を押してください。
	記録紙が正しくセットされていない。	記録紙を正しくセットし直してください。 (☞ 14ページ)
	記録部に記録紙がつまっている。	つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。 (☞ 69ページ)
キロクエラー　カイフクチュウ ↑↓ シハ゛ラク　オマチクダ゛サイ	連続使用により記録部分が熱くなってる。	電源コードを抜き、しばらくしてから操作し直してください。
ゲ゛ンコウ　カクニン ↑↓ ゲ゛ンコウヲ　トッテクダ゛サイ ↑↓ ゲ゛ンコウ　カクニン ↑↓ テイシ　ヲ　オシテクダ゛サイ	下記の原因で原稿がつまっている。 ・原稿が正しく挿入されていない ・原稿が正しく送信されていない ・原稿サイズが長い ・原稿挿入口に原稿が正しくセットされていない	操作パネルを開いて原稿を取り除きます。操作パネルを閉め、原稿の幅に原稿ガイドを合わせて正しくセットし、再度コピー、または送信し直してください。 (☞ 69ページ)
ソウチ　カクニン　　XX ↑↓ コールセンターへ TEL クダ゛サイ	本機に何らかの異常が発生した。	「お客様相談窓口（コールセンター）：050-3786-8891」へ連絡してください。
ツウシン　エラー	回線状態が悪い。	少し時間がたってから、再度送信してください。
	相手先がポーリング送信待機状態になっていないときに、ポーリング受信の操作を行った。	相手先に確認して、再度操作してください。
	インターネット電話やIP電話など、IP網を使用している。（相手側を含む）	IP網の状況によりファクス送信／受信ができないことがありますので、IP網を使わずに送信／受信してください。 不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。
ハナシチュウ/オウトウナシ	相手が出ない。	ファクシミリが接続されていない番号にかけたかもしれません。相手先の電話番号を確認し、再度かけ直してください。
	通信中。（話し中）	少し時間がたってから、再度送信してください。
	相手先のファクスが自動受信しない。	相手先に電話して原因を解除してもらい、再度送信してください。
ヨミトリブ゛　ヨゴ゛レアリ	読取部が汚れている。	読取部を清掃してください。（☞ 68ページ）

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の項目をチェックしてください。それでも異常があるときは、「お客様相談窓口（コールセンター）：050-3786-8891」へご連絡ください。

	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	受話器から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない	回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。（☞ 16ページ）
	スピーカーからの相手の声が聞きとりにくい	スピーカー音量の設定が小さくないですか。	スピーカー音量を大きくしてください。（☞ 27ページ）
	電話の着信音が小さい	着信音量の設定が小さくないですか。	着信音量を大きくしてください。（☞ 26ページ）
	電話機からの相手の声が聞きとりにくい	受話音量の設定が小さくないですか。	受話音量を大きくしてください。（☞ 26ページ）
	相手に声が聞こえないと言われる	受話器の送話口をふさいでいませんか。	送話口をふさがないでください。
	電話がかかってきても応答しない／着信音が鳴らない	呼出ベル回数は正しく設定されていますか。	受信モードに合わせて呼出ベル回数を設定します。（☞ 43ページ）
		本機に電話をかけてみると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れる。	ターミナルアダプタの設定に誤りがあります。設定を確認してください。
		構内交換機（PBX）に接続しているのに、ナンバー・ディスプレイの設定が「アリ」になっていませんか。	ナンバー・ディスプレイの設定を「ナシ」に設定してください。（☞ 62ページ）
	受話器から「ツー」という音が聞こえない	オンフック ○ を押して、スピーカーから「ツー」という音が聞こえていますか。 電話機コードが正しく接続されていますか。	「ツー」という音が聞こえている場合は、受話器コードが本機にしっかり差し込まれているか確認してください。 聞こえていない場合は、電源コードと電話機コードがそれぞれしっかり差し込まれているか確認してください。
		電話機コードが正しく接続されていますか。	電源コードと電話機コードがそれぞれしっかり差し込まれているか確認してください。
		本機が接続されているアナログポートを「使用しない」に設定していませんか。	「使用する」に設定してください。
	声が途切れる	インターネット電話やIP電話など、IP網を使用していませんか。（相手側を含む）	IP網の状況により声が途切れることがありますので、IP網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。
	通話が切れる	声や周りの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁に起こるときは、「親切受信」を「OFF」に設定してください。このとき、ファクスは スタート を押して受信します。（☞ 45ページ）
		インターネット電話やIP電話など、IP網を使用していませんか。（相手側を含む）	IP網の状況により通話が切れることがありますので、IP網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。
	電話をかけるときに、間違った相手にかかったり、正しくダイヤルされない。	電話の環境が影響している可能性があります。	受話器をあげて、発信音（ツー音）を確認してからダイヤルしてください。

こんなときは			ここをチェック	対処のしかた
電話	キャッチホン	雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない	並列接続していませんか。	正しく接続し直してください。 (☞ 19ページ)
	ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない	並列接続していませんか。	正しく接続し直してください。 (☞ 19ページ)
	キャッチホン・ディスプレイ	キャッチホンが入ったとき、雑音が入りキャッチホン・ディスプレイデータを受けられない	キャッチホン・ディスプレイの設定が「ナシ」に設定されていませんか。	キャッチホン・ディスプレイの設定を「アリ」にします。(☞ 66ページ)
	ADSL回線	以前に比べて自分の声が響いたり、相手の声が聞きにくい	ADSLのスプリッタが影響している可能性があります。	ADSL回線のスプリッタを交換すると改善する場合があります。 ADSL契約会社、またはスプリッタの製造メーカーにお問い合わせください。
		通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなる	ADSL回線を使用して、並列接続をしていませんか。	並列接続をしないでください。
	ISDN回線	自分の声や相手の声が大きく聞こえて話しにくい	ISDN回線のターミナルアダプタに接続していませんか。	ターミナルアダプタに受話音量の設定がある場合は、受話音量「ショウ」に設定してください。また、本機の受話音量を小さくしてください。 (☞ 26ページ)
		電話がかけられない	回線種別が「プッシュ」に設定されていない。	回線種別を「プッシュ」に設定してください。 (☞ 16ページ)
			本機が接続されているアナログポートを「使用しない」に設定していませんか。	「使用する」に設定してください。
		電話を受けてもベルが鳴らない	何も接続していない空アナログポートは「使用しない」に設定してください。	
			契約回線番号またはｉ・ナンバーは正しく入力されているか確認してください。	
		本機が接続されているアナログポートに１～2回おきにしか着信しない	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1～2回おきにしか着信できません。	
		本機に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない	本機を接続しているアナログポートの設定内容を確認します。	契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合、以下のように設定してください。 サブアドレスなし着信：「着信する」 HLC設定：「HLC設定しない」 識別着信：「識別着信しない」
				ｉ・ナンバーのアナログポートに本機を接続している場合、以下のように設定してください。 ｉ・ナンバーを登録する サブアドレスなし着信：「着信する」 HLC設定：「HLC設定しない」 識別着信：「識別着信しない」
			ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認し、異常があった場合はNTT故障係（113：無料）へご連絡ください。	

故障かな？と思ったら

こんなときは			ここをチェック	対処のしかた
ファクス／コピー	ISDN回線	契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、i・ナンバーのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る	i・ナンバーのアナログポートの設定を確認します。	グローバル着信は「しない」に設定してください。
		特定の相手とファクス通信できない	「お客様相談窓口（コールセンター）：050-3786-8891」へご連絡ください。	
		ファクス送受信ができない（電話も使えない）	ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認し、異常があった場合はNTT故障係（113：無料）へご連絡ください。回線に異常がなければ、「お客様相談窓口（コールセンター）：050-3786-8891」へご連絡ください。	
	スタートボタンを押しても送信／受信しない		原稿がセットされているのに受信しようとしていませんか。	原稿を外して受信します。（☞ 44ページ）
			原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。	原稿を正しくセットしてください。
			スタートを押す前に、受話器を戻していませんか。	スタートを押してから受話器を戻します。（☞ 44ページ）
			回線種別の設定は正しいですか。	回線種別を正しく設定してください。（☞ 16ページ）
			外付電話機が通話中ではないですか。	外付電話機が通話中のときは、ファクスは使用できません。通話が終わってから、送受信を行います。
			並列接続された別の電話機の受話器をあげていませんか。	並列接続された別の電話機が通話中のときは、ファクスは使用できません。通話が終わってから、送受信を行います。
	ファクス送信／受信ができない		インターネット電話やIP電話など、IP網を使用していませんか。（相手側を含む）	IP網の状況によりファクス送信／受信ができないことがありますので、IP網を使わずに送信／受信してください。不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。
	送信後、相手から画像が乱れていると連絡があった		きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読取部の清掃をしてください。（☞ 68ページ）
			相手先に異常がありませんか。	相手先に確認します。
			画質モードは適切ですか。	画質を調整します。（☞ 58ページ）
			キャッチホンが途中で入っていませんか。	キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。（☞ 65ページ）
	受信／コピーしても、記録紙が出てこない		記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙、または操作パネルを正しくセットします。（☞ 14ページ）
			記録紙がなくなっていませんか。	
			操作パネルは確実に閉まっていますか。	
			記録紙がつまっていませんか。	つまった記録紙を取り除きます。（☞ 69ページ）
	受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる		相手側と連絡を取り、原稿を裏返しに送信していないかを確認してください。	
			コピーは正しくとれますか。（記録紙の向きが裏表、逆になっていませんか。）	操作パネルを開け、記録紙の向きを確認してください。（☞ 14ページ）
	きれいに受信できない		電話回線の接続が悪いため起こります。	相手に再度、送信し直してもらってください。
			相手側の原稿に異常がありませんか。（うすい、かすれなど。）	相手に確認し、再度送信し直してもらってください。

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
ファクス／コピー	きれいにコピーできない	読取部が汚れていませんか。	読取部を清掃してください。（☞ 68ページ）
	B4サイズの原稿が受信できない	相手側の問題です。	
	自動受信できない	呼出ベル回数が多すぎませんか。	呼出ベル回数を6回以下に設定してください。（☞ 43ページ） またはスタートを押して手動で受信してください。
	構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない	内線または外線からファクス受信するときのベルの鳴りかたを確認し、「お客様相談窓口（コールセンター）：050-3786-8891」にご連絡ください。	
原稿	原稿が送り込まれていかない	原稿ホルダーを使用していますか。	原稿を正しくセットします。（☞ 37ページ）
		原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。	
		操作パネルは確実に閉まっていますか。	
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	使用できる原稿を確認してください。（☞ 79ページ）
		原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。	
		原稿が小さすぎませんか。	
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	つまった原稿を取り除きます。（☞ 69ページ）
	原稿が斜めになってしまう	原稿ガイドを送信原稿に合わせていますか。	原稿を正しくセットします。（☞ 37ページ）
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	つまった原稿を取り除きます。（☞ 69ページ）
その他	「ｷﾛｸｴﾗｰ　ｶｲﾌｸﾁｭｳ」の表示が出る	長時間コピーや受信をしていませんか。	長時間コピーや受信をすると、加熱保護機能がはたらいて、停止することがあります。このときには電源コードを抜き、しばらくしてから操作し直してください。
	電源が入らない	電源コードは確実に差し込まれていますか。	電源コードを確実に差し込みます。（雷で電源が入らなくなったときは、有償修理になります。）



製品の異常により修理が必要となった場合、故障箇所や修理箇所によっては「削除されないデータ」（☞ 8ページ）でも、消えることがあります。

海外に電話をかける／ファクスを送信するときは

海外に電話をかける／ファクスを送信するときは、以下のようにダイヤルしてください。

（国際電話サービス会社指定の番号）＋ 010 ＋ 国・地域番号 ＋ 相手の電話番号



- 国際電話サービス会社各社に登録されている場合は、国際電話サービス会社指定の番号は不要です。
- 国・地域番号は、下記の国・地域番号リストを参照してください。

■ 国・地域番号リスト

2002年12月1日現在

	国・地域名		番号
ア	アイルランド	Ireland	353
	アメリカ	U.S.A	1
	アラブ首長国連邦	U.A.E	971
	アルゼンチン	Argentina	54
	アンドラ	Andorra	376
	イギリス	U.K	44
	イスラエル	Israel	972
	イタリア	Italy	39
	イラン	Iran	98
	インド	India	91
	インドネシア	Indonesia	62
	ウクライナ	Ukraine	380
	ウルグアイ	Uruguay	598
	エジプト	Egypt	20
	オーストラリア	Australia	61
	オーストリア	Austria	43
	オマーン	Oman	968
	オランダ	Netherlands	31
カ	カタール	Qatar	974
	カナダ	Canada	1
	韓国	Korea	82
	カンボジア	Cambodia	855
	キプロス	Cyprus	357
	ギリシャ	Greece	30
	グアム	Guam	1
	クウェート	Kuwait	965
	ケニア	Kenya	254
	コロンビア	Colombia	57
サ	サイパン	Saipan	1
	サウジアラビア	Saudi Arabia	966
	シリア	Syria	963
	シンガポール	Singapore	65
	スイス	Switzerland	41
	スウェーデン	Sweden	46
	スペイン	Spain	34
	スリランカ	Sri Lanka	94
タ	タイ	Thailand	66
	台湾	Taiwan	886
	チェコ	Czech	420
	チュニジア	Tunisia	216
	チリ	Chile	56

	国・地域名		番号
タ	中国	China	86
	デンマーク	Denmark	45
	ドイツ	Germany	49
	トルコ	Turkey	90
ナ	ナイジェリア	Nigeria	234
	日本	Japan	81
	ニュージーランド	New Zealand	64
	ネパール	Nepal	977
	ノルウェー	Norway	47
ハ	バーレーン	Bahrain	973
	パキスタン	Pakistan	92
	パナマ	Panama	507
	パプア･ニューギニア	Papua New Guinea	675
	ハンガリー	Hungary	36
	バングラデシュ	Bangladesh	880
	フィジー	Fiji	679
	フィリピン	Philippines	63
	フィンランド	Finland	358
	プエルトリコ	Puerto Rico	1
	ブラジル	Brazil	55
	フランス	France	33
	ブルガリア	Bulgaria	359
	ブルネイ	Brunei	673
	ベトナム	Viet Nam	84
	ベネズエラ	Venezuela	58
	ペルー	Peru	51
	ベルギー	Belgium	32
	ポーランド	Poland	48
	ポルトガル	Portugal	351
	香港	Hong Kong	852
マ	マカオ	Macao	853
	マレーシア	Malaysia	60
	ミャンマー	Myanmar	95
	南アフリカ	South Africa	27
	メキシコ	Mexico	52
	モナコ	Monaco	377
ヤ	ヨルダン	Jordan	962
ラ	ラオス	Laos	856
	ルクセンブルグ	Luxembourg	352
	レバノン	Lebanon	961
	ロシア連邦	Russian Federation	7

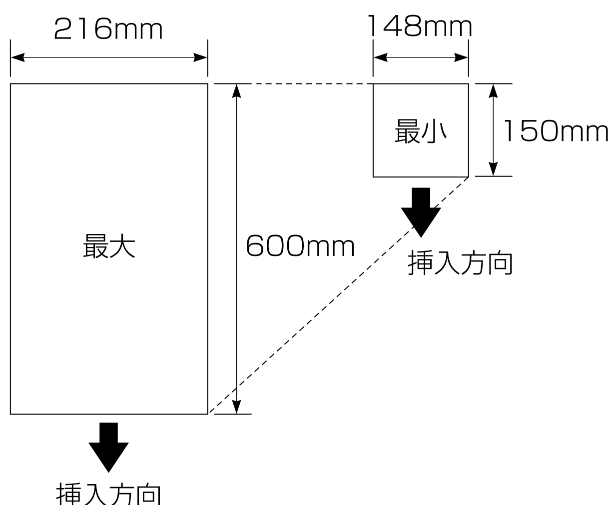
※国・地域番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

付　録

原稿／記録紙について

原稿のサイズと紙厚

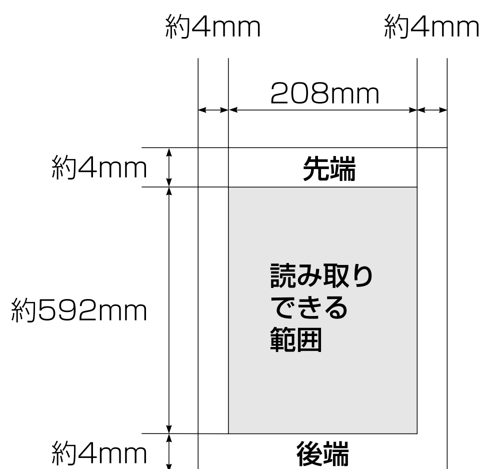
セットできる原稿のサイズと厚さは次の通りです。これ以外のサイズの原稿を使うときは、コピー機で拡大・縮小コピーをするか、小さすぎる原稿は市販のキャリアシートに入れてセットしてください。



- **最大原稿サイズ**：216（幅）×600（長さ）mm
  長さが400mm以上の原稿は手で支えながら送信してください。
- **最小原稿サイズ**：148（幅）×150（長さ）mm
- **紙厚**：0.08〜0.10mm
- **重量**：64〜90g/m^2（55〜70kg紙）

原稿の読み取り範囲

原稿をセットしたとき、読み取ることのできない範囲がありますので、ご注意ください。
また、読み取ることのできる範囲は、原稿の紙質、紙厚、および原稿をセットした状態などにより変化する場合があります。



使用できない原稿

次のような原稿をセットすると原稿がつまったり破れたりすることがあります。必要な処置をしてセットしてください。

使用できない原稿	処置
ホチキスの針やクリップのついた原稿	ホチキスの針やクリップを外してください。
そり、折れ、しわのある原稿	たいらにするか、コピー機でコピーしてください。
・穴、破れのある原稿 ・貼り合わせた原稿 ・アート紙、銀紙、カーボン紙など表面が加工された原稿 ・インデックス、付せんなどはみ出た部分がある原稿 ・登記書のように薄くてやわらかい原稿 ・官製はがきのように厚い原稿 ・本のように閉じてある原稿 ・つるつるすべる原稿	キャリアシートを使うか、コピー機でコピーしてください。
朱肉、修正液、インクなどが乾いていない原稿	完全に乾かしてください。

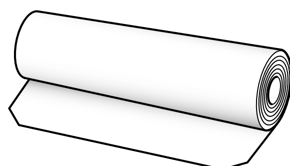


- 原稿を複数枚セットするときは、キャリアシートはお使いになれません。
- キャリアシートは古くなったら新しいものとお取り替えください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
- 原稿の先端に色が付いていると、濃い原稿と判断する場合があります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。
- 原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。

記録紙について

記録紙は、当社推奨の感熱記録紙（感熱記録紙 A4サイズ　長さ：30mロール　横幅：210mm　芯：1インチ紙管）を使用してください。（部品コード：LS9587001）

芯が1/2インチのものや極端に薄い感熱紙を使うと、記録紙づまりやかすれの原因となることがあります。



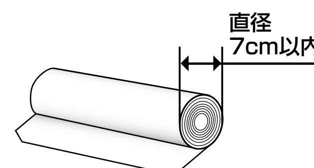
感熱記録紙
（210mm×30m、芯：1インチ紙管）



感熱記録紙は、普通紙のような感熱紙です。鉛筆、ペンなどの書き込みができ、通常の感熱紙よりも長期保存に適しています。



- **記録結果の保管について**（印刷消え、変色の原因となります。）
  - ・保管は直射日光、高温、高湿を避けてください。
  - ・プラスチックや青焼紙などと重ねないでください。
  - ・粘着テープ、ボンドなどを使わないでください。
- **記録紙は直径7cm以内のものを使用してください。**



第1章 最初にお読みください
第2章 電話
第3章 ファクス
第4章 コピー
第5章 活用する
第6章 困ったときは
付録

機能一覧

本機で設定できる機能や設定は次のようになります。
ディスプレイに表示されるメッセージにしたがって、登録や設定を行います。

機能	設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	操作	参照ページ
初期登録	回線種別設定	電話回線に合わせて回線種別を設定します。	プッシュ ダイヤル　10PPS **ダイヤル　20PPS** ジドウ　セッテイ	機能/確定 1 1	16ページ
	時計セット	現在の日付と時刻を登録します。	**03年** **01月** **01日** **00時** **00分**	機能/確定 1 2	20ページ
	発信元登録	ファクスに印刷される発信元の名前やファクス番号、電話番号を登録します。	－	機能/確定 1 3	21ページ
	キータッチ音量	ボタンを押したときの音量を設定します。	OFF **ショウ** チュウ ダイ	機能/確定 1 4	27ページ
	着信音選択	着信音の鳴りかたを設定します。	**ベル1**～4	機能/確定 1 5	28ページ
受信設定	呼出ベル回数	着信してから本機が応答するまでに鳴る呼出ベル回数を設定します。	0～（**4回**）～10回	機能/確定 2 1	43ページ
	親切受信	ファクスの親切受信を設定します。	**ON** OFF	機能/確定 2 2	45ページ
	リモート受信	外部の操作で、本機のファクス受信をスタートさせるための番号を設定します。	ON **OFF**	機能/確定 2 3	52ページ
	ポーリング受信	ポーリング通信でファクスを受信するときの設定をします。	－	機能/確定 2 4	53ページ
送信設定	送付書	ファクスを送信するとき、「送付書」を付ける／付けないを設定します。	コンカイノミ ON **OFF** プリント　サンプル	機能/確定 3 1	47ページ
	送付書コメント	「送付書」に記載するコメントを作成します。（2種類のオリジナルコメントを登録できます。）	－	機能/確定 3 2	48ページ
	原稿濃度	原稿の文字の濃さに合わせた調整をします。	**フツウ** コク ウスク	機能/確定 3 3	58ページ
	海外送信モード	海外にファクスを送信するときに設定します。	ON **OFF**	機能/確定 3 4	51ページ
	電話予約	ファクス送信後に相手と話がしたいとき、設定します。	ON **OFF** プリント　サンプル	機能/確定 3 5	46ページ
	タイマー送信	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	－	機能/確定 3 6	50ページ
解除	設定解除	タイマー送信の設定を解除します。	－	機能/確定 4	51ページ



操作を途中で中止するときは、停止を押します。

機能	設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	操作	参照 ページ
ダイヤル登録	ワンタッチダイヤル	ワンタッチダイヤルに電話番号や相手先の名前を登録します。	―	機能/確定 → ナ JKL 5 → ア 1	32ページ
	短縮ダイヤル	短縮ダイヤルに電話番号や相手先の名前を登録します。	―	機能/確定 → ナ JKL 5 → カ ABC 2	33ページ
リストプリント	送信レポート	ファクス送信後に送信結果を印刷するための設定をします。	ON **エラーノミ** OFF	機能/確定 → ハ MNO 6 → ア 1	59ページ
	通信管理レポート	最新の通信結果を印刷します。（送信、受信合わせて15件です。）	プリント　リスト シュツリョク カンカク(6/12/24 ジカンゴト､2/7 カゴト､15 ケン ゴト/レポート シュツリョク シナイ)	機能/確定 → ハ MNO 6 → カ ABC 2	59ページ
	ダイヤルリスト	ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録した内容を印刷します。	―	機能/確定 → ハ MNO 6 → サ DEF 3	60ページ
	電話帳リスト	ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録した内容を50音順に印刷します。	―	機能/確定 → ハ MNO 6 → タ GHI 4	60ページ
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	―	機能/確定 → ハ MNO 6 → ナ JKL 5	60ページ
ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイ	NTTのナンバー・ディスプレイを使用する/しないを設定します。	**アリ** ナシ	機能/確定 → マ PQRS 7 → ア 1	62ページ
	キャッチホン・ディスプレイ	NTTのキャッチホン・ディスプレイを使用する/しないを設定します。	アリ **ナシ**	機能/確定 → マ PQRS 7 → カ ABC 2	66ページ



操作を途中で中止するときは、（停止）を押します。

主な仕様

形式	送受信兼用卓上型G3機
圧縮方式	MH（モディファイドハフマン）
電送時間 *1	約15秒
通信速度	9600／7200／4800／2400 bps（自動フォールバック方式）
原稿サイズ幅	最大：216mm、最小：148mm
最大有効読取幅	208mm
最大有効記録幅	208mm
記録紙サイズ	A4サイズ：216mm×30m（ロール紙）まで対応
記録方式	感熱記録方式
読取方式	密着イメージセンサーによる読取
ハーフトーン	64階調（ディザ方式）
走査線密度	主走査：8ドット／mm 副走査：3.85本／mm（標準）、7.7本／mm（ファイン／写真）、15.4本／mm（S.ファイン／写真）
適用回線	一般電話回線、2線式専用回線、ファクシミリ通信網（16Hzのみ対応）
使用環境	温度：5～35℃、湿度：45～80%
電源	AC100V±10V 50／60Hz
消費電力 *2	待機時 ：約 4.5W　ファクス送信時：約 8W　コピー時：約19W ピーク時：約110W 以下　ファクス受信時：約19W
直流抵抗値	248Ω
外形寸法	299（横幅）×233（奥行き）×135（高さ）mm （突起部を除く） 実設置寸法：299（横幅）×290（奥行き）×240（高さ）mm
質量	約2.8kg

*1：A4サイズ700字程度の原稿を標準的画質（8ドット×3.85本／mm）で高速モード（9600bps）で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。

*2：コピー、ファクス送受信時の原稿は、画像電子学会No.4チャートを使用。（常温、常湿にて測定）

※外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

消耗品などのご注文について

ご注文シート

- 消耗品はお買い上げの販売店、家電量販店でも取り扱いがございますが、当社にてインターネット、電話、ファクスによるご注文も承っております。
- ファクスにてご注文される場合は下記ご注文シートにご記入の上、お申し込みください。
- 配送料は、お買い上げ金額の合計が5,000円以上の場合は全国無料です。
  5,000円未満の場合は500円の配送料をいただきます。(代引き手数料は全国一律無料)
- 配送地域は日本国内に限らせていただきます。

〈代引き〉...................................... ご注文後2～3営業日後の商品発送
　※配送先が離島の場合は代引きによるお支払いは利用できません。

〈お振込(銀行・郵便)〉................ ご入金確認後2～3営業日後の商品発送
　※代金は先払いとなります。(銀行/郵便局備え付けの振込用紙などからお振り込みください)
　※振込手数料はお客様負担となります。

〈クレジットカード〉..................... カード番号確認後2～3営業日後の商品発送
　※カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせていただきます。

【ご注文先】

ブラザー販売(株)情報機器事業部ダイレクトクラブ
インターネット:http://direct.brother.co.jp
FAX:052－825－0311
フリーダイヤル:0120－118－825(土・日・祝日、長期休暇を除く9時～17時)

振込先　口座名義:ブラザー販売株式会社
銀行:三井住友銀行　上前津(カミマエヅ)支店　普通6428357
郵便:振込番号　00860－1－27600

〈ご注文シート〉

※コピーしてお使いください。

〈キリトリ線〉

お客様ご住所　〒

お名前　　TEL　　FAX

お支払い方法　銀行前振込・郵便前振込・代引き・クレジットカード

カード種類　①VISA　②JCB　③UC　④DINERS　⑤CF　⑥Master　⑦JACCS

カードNO

カード名義人名　　有効期限　　年　　月

商品名	コード	単価(税込)	ご注文数	金額(税込)
感熱記録紙 (A4サイズ　30m感熱記録紙　2巻)	LS9587001	2,100円		

配送料および消費税は変わる可能性があります。
消費税:2005年11月現在
必要な場合はおそれいりますが、コピーしてお使いください。

配送料 金額が5,000円未満のとき→　500円 金額が5,000円以上のとき→　0円	
合　計	

索 引

A ～ Z

あ

か

さ

memo

お客様相談窓口(コールセンター):050-3786-8891

本製品の取り扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、
上記のお客様相談窓口にお気軽にお申し付けください。

受付時間　午前9：00～午後7：00
営 業 日　月曜日～土曜日
(日・祝日および当社(ブラザー販売(株))休日は休みとさせていただきます。)

ダイレクトクラブにて消耗品のファクス注文受付中！
ファクス番号：052-825-0311
（ご注文シートをコピーしてお使いください。）
本文83ページ参照

● 純正品の記録紙をご使用いただいた場合のみ機能・品質保証されます。

brother

467-8561 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1
ブラザー工業株式会社

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はおやめください。現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が本製品に適切でないおそれがあります。
海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。
また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. **Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.**

● **お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。**
● 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。
● 本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。